

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科等連係課程実施基本組織の設置（研究科の設置）								
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン ナガサキダイガク 国立大学法人 長崎大学								
フリガナ大学の名称	ナガサキダイガクダイガクイン 長崎大学大学院 (Graduate school of Nagasaki University)								
大学本部の位置	長崎県長崎市文教町1番14号								
大学の目的	長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献するとの理念に基づき、実践的問題解決能力と政策立案能力を有し国際的問題及び地域の諸課題を解決しうる高度専門職業人並びに豊かな創造的能力を有し先導的知を創生しうる研究者を養成し、もって広く人類に貢献することを目的とする。								
新設研究科等の目的	原爆ヒバクの経験を有する長崎大学の歴史と、これまでの平和教育・核兵器廃絶研究において独自に継続的な取り組みや熱帯医学・感染症の卓越した実績を持つ長崎大学の強みを活かしつつ、人文社会科学的叡智を科学的アプローチに統合し、人類の存続に影響しうる地球規模のリスク、特に本学の強みである核使用リスク、放射線リスク等に関する学際的研究を推進し、政策立案能力のある専門家、国際社会におけるリーダーの育成を行う。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	研究科等連係課程実施基本組織 グローバルリスク研究院 [Interdisciplinary Graduate school of Global risk]	3	5	—	15	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係 経済学関係 医学関係	令和8年10月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号
	連係協力研究科（Ⅰ） 多文化社会学研究科 [Graduate School of Global Humanities and Social Sciences] 多文化社会学専攻 [Department of Global Humanities and Social Sciences]	3	5	—	15	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	令和2年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号
	多文化社会学専攻からグローバルリスク研究院の内数とする定員	—	2	—	6				
	連係協力研究科（Ⅱ） 経済学研究科 [Graduate School of Economics] 経営意思決定専攻 [Department of Managerial Decision Making]	3	3	—	9	博士（経営学） 【Doctor of Business Administration】	経済学関係	平成16年4月 第1年次	長崎県長崎市片淵4丁目2番1号
経営意思決定専攻からグローバルリスク研究院の内数とする定員	—	0	—	0					

新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
新設研究科等の概要	連係協力研究科（Ⅲ） 医歯薬学総合研究科 [Graduate School of Biomedical Sciences]								
	医療科学専攻 [Medical and Dental Sciences]	4	60	—	240	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】 博士（医学） 【Doctor of Philosophy in Medical Science】	医学関係 歯学関係 薬学関係	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂 本1丁目12番4号
	医療科学専攻からグ ローバルリスク研究 院の内数とする定員	—	0	—	0	博士（歯学） 【Doctor of Philosophy in Dental Science】 博士（薬学） 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】			
	新興感染症病態制御 学系専攻 [Infection Research]	4	20	—	80	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】 博士（医学） 【Doctor of Philosophy in Medical Science】	医学関係 歯学関係 薬学関係	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂 本1丁目12番4号
	新興感染症病態制御 学系専攻からグロー バルリスク研究院の 内数とする定員	—	0	—	0	博士（歯学） 【Doctor of Philosophy in Dental Science】 博士（薬学） 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】			
	放射線医療科学専攻 [Life Sciences and Radiation Research]	4	8	—	32	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】 博士（医学） 【Doctor of Philosophy in Medical Science】	医学関係 歯学関係 薬学関係	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂 本1丁目12番4号
	放射線医療科学専攻 からグローバルリス ク研究院の内数とす る定員	—	3	—	9	博士（歯学） 【Doctor of Philosophy in Dental Science】 博士（薬学） 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】			

新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
先進予防医学共同専攻 [Division of Advanced Preventive Medical Sciences]	4	10	—	40	博士 (医学) 【Doctor of Medicine】	医学関係	平成28年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	
先進予防医学共同専攻からグローバルリスク研究院の内数とする定員	—	0	—	0					
生命薬科学専攻 [Pharmaceutical Sciences]	3	7	—	21	博士 (学術) 【Doctor of Philosophy】	薬学関係	平成24年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	
生命薬科学専攻からグローバルリスク研究院の内数とする定員	—	0	—	0	博士 (薬科学) 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】				
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化社会学研究科多文化社会学専攻 (博士後期課程) 入学定員増 (2) ・医歯薬学総合研究科放射線医療科学専攻 (博士後期課程) 入学定員増 (3) ・医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻 (博士後期課程) 入学定員減 (▲3) ・既設の研究科等連係課程実施基本組織「プラネタリーヘルス学環」を「グローバルヘルス研究院」へ名称変更 								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	グローバルリスク研究院	10科目	1科目	1科目	12科目	16単位			
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
		人	人	人	人	人	人	人	
研究科等連係課程 グローバルリスク研究院									
連係協力研究科 (I) 多文化社会学研究科 多文化社会学専攻		12	5	0	2	19	0	38	
連係協力研究科 (II) 経済学研究科 経営意思決定専攻		<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	
連係協力研究科 (III) 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻 生命薬科学専攻 (博士後期課程)		【12】	【5】	【0】	【2】	【19】	(0)	(38)	
計		12 (12)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	- (-)	
既設	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	11 【4】 (11)	10 【4】 (10)	0 【0】 (0)	2 【2】 (2)	23 【10】 (23)	0 (0)	8 (8)	
	経済学研究科 経営意思決定専攻	7 【2】 (7)	11 【1】 (11)	0 【0】 (0)	3 【0】 (3)	21 【3】 (21)	0 (0)	0 (0)	
設	総合生産科学研究科 総合生産科学専攻 (博士後期課程)	78 【0】 (78)	85 【0】 (85)	0 【0】 (0)	15 【0】 (15)	178 【0】 (178)	0 (0)	10 (10)	
	医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	76 【0】 (76)	40 【0】 (40)	7 【0】 (7)	7 【0】 (7)	130 【0】 (130)	0 (0)	159 (159)	
分	医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻	25 【0】 (25)	9 【0】 (9)	1 【0】 (1)	3 【0】 (3)	38 【0】 (38)	0 (0)	244 (244)	

(注)
<>内は、研究科等連係課程実施基本組織のみに従事する専任教員数。
【】内は、研究科等連係課程実施基本組織と連係協力研究科等を兼ねる専任教員数。

(注)
【】内は、研究科等連係課程実施基本組織と連係協力研究科等を兼ねる専任教員数。

研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)
		教授	准教授	講師	助教	計		
		人	人	人	人	人	人	
既	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻	6 【3】 (6)	1 【0】 (1)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	11 【3】 (11)	0 (0)	261 (261)
	医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	8 【3】 (8)	8 【0】 (8)	0 【0】 (0)	3 【0】 (3)	19 【3】 (19)	0 (0)	15 (15)
	医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻(博士後期課程)	10 【0】 (10)	11 【0】 (11)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	25 【0】 (25)	0 (0)	0 (0)
	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻	15 【0】 (15)	11 【0】 (11)	1 【0】 (1)	13 【0】 (13)	40 【0】 (40)	0 (0)	1 (1)
設	長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学 大学院国際連携グローバルヘルス専攻	15 【0】 (15)	11 【0】 (11)	1 【0】 (1)	13 【0】 (13)	40 【0】 (40)	0 (0)	2 (2)
	グローバルヘルス研究院	24 【0】 (24)	15 【0】 (15)	0 【0】 (0)	3 【0】 (3)	42 【0】 (42)	0 (0)	11 (11)
分	計	236 (236)	186 (186)	9 (9)	54 (54)	485 (485)	0 (0)	- (-)
	合計	236 (236)	186 (186)	9 (9)	54 (54)	485 (485)	0 (0)	- (-)
職 種		専 属			そ の 他		計	
事 務 職 員		500 (500)			693 (693)		1193 (1193)	
技 術 職 員		117 (117)			72 (72)		189 (189)	
図 書 館 職 員		5 (5)			0 (0)		5 (5)	
そ の 他 の 職 員		1447 (1447)			730 (730)		2177 (2177)	
指 導 補 助 者		0 (0)			369 (369)		369 (369)	
計		2069 (2069)			1864 (1864)		3933 (3933)	
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計	
	校 舎 敷 地	369,035㎡	0㎡		0㎡		369,035㎡	
	そ の 他	309,046㎡	0㎡		0㎡		309,046㎡	
	合 計	678,081㎡	0㎡		0㎡		678,081㎡	
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計	
		190,345㎡ (190,345㎡)	0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		190,345㎡ (190,345㎡)	
講義室等・新設研究科等の 専任教員研究室		講義室	実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室	
		108室	524室		216室		19室	
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点
	グローバルリスク研究院	1,005,000 [29,000] (997,000 [289,000])	26,000 [23,000] (23,000 [21,000])	25,700 [7,400] (25,500 [7,400])		22,300 [20,900] (22,100 [20,700])	17,682 (17,682)	79 (79)
	計	1,005,000 [29,000] (997,000 [289,000])	26,000 [23,000] (23,000 [21,000])	25,700 [7,400] (25,500 [7,400])		22,300 [20,900] (22,100 [20,700])	17,682 (17,682)	79 (79)
経 費 の 見 積 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次
	経費の 見積り	教員1人当り研究費等		千円	千円	千円	千円	千円
		共同研究費等		千円	千円	千円	千円	千円
		図書購入費	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		設備購入費	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金			第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円
学生納付金以外の維持方法の概要								

【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】
人数：1名
職名：助教
所属：熱帯医学研究所

令和8年10月名称変更予定

大学全体

国費による

大学等の名称	長崎大学								所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	-	400	学士(多文化社会学)	1.00	平成26年度	長崎市文教町1番14号	
	教育学部 学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士(教育学)	0.99	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
	経済学部 総合経済学科	4	295	3年次 15	1240	学士(経済学)	1.01	平成9年度	長崎市片瀬4丁目2番1号	令和5年度入学定員減(30人)
	医学部 医学科	6	114	2年次 5	729	学士(医学)	1.00	昭和24年度	長崎市坂本1丁目12番4号	令和7年度入学定員増(臨時定員)(19人)
	保健学科	4	116	3年次 10	474	学士(看護学) 学士(保健学)	0.95	平成13年度	長崎市坂本1丁目7番1号	令和5年度入学定員増(10人)
	歯学部 歯学科	6	50	-	300	学士(歯学)	0.98	昭和54年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
	薬学部 薬学科	6	40	-	240	学士(薬学)	1.01	平成18年度	長崎市文教町1番14号	
	薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.05	昭和61年度	長崎市文教町1番14号	
	情報データ科学部 情報データ科学科	4	120	-	470	学士(情報データ科学)	1.02	令和2年度	長崎市文教町1番14号	令和5年度入学定員増(10人)
	工学部 工学科	4	330	-	1320	学士(工学)	1.01	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	530	学士(環境科学)	1.02	平成9年度	長崎市文教町1番14号	
	水産学部 水産学科	4	120	-	470	学士(水産学)	1.04	昭和48年度	長崎市文教町1番14号	令和5年度入学定員増(10人)
	【研究科】 多文化社会学研究科 (博士前期課程) 多文化社会学専攻	2	10	-	20	修士(学術)	1.30	平成30年度	長崎市文教町1番14号	
	(博士後期課程) 多文化社会学専攻	3	3	-	9	博士(学術)	1.77	令和2年度	長崎市文教町1番14号	
	教育学研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	28	-	56	教職修士(専門職)	0.73	平成20年度	長崎市文教町1番14号	
	経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻	2	15	-	30	修士(経済学) 修士(経営学)	1.13	平成7年度	長崎市片瀬4丁目2番1号	
	(博士後期課程) 経営意志決定専攻	3	3	-	9	博士(経営学)	1.55	平成16年度	長崎市片瀬4丁目2番1号	
	総合生産科学研究科 総合生産科学専攻(博士前期)	2	315	-	630	修士(情報データ科学) 修士(工学) 修士(水産学) 修士(環境科学) 修士(学術)	1.04	令和6年度	長崎市文教町1番14号	令和6年4月設置
総合生産科学専攻(博士後期)	3	55	-	110	博士(情報データ科学) 博士(工学) 博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(学術)	0.55	令和6年度	長崎市文教町1番14号	令和6年4月設置	
総合生産科学専攻(5年一貫制博士課程)	5	5	-	10	博士(情報データ科学) 博士(工学) 博士(水産学) 博士(環境科学)	0.4	令和6年度	長崎市文教町1番14号	令和6年4月設置	

学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
既設大学等の状況	医歯薬学総合研究科								
	(修士課程) 保健学専攻	2	30	-	60 修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.08	平成18年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
	災害・被ばく医療科学共同専攻	2	10	-	20 修士(医科学) 修士(看護学)	0.95	平成28年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	(博士課程) 医療科学専攻	4	60	-	240 博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.70	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	新興感染症病態制御学系専攻	4	20	-	80 博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.88	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	放射線医療科学専攻	4	5	-	20 博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.05	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	先進予防医学共同専攻	4	10	-	40 博士(医学)	0.97	平成28年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	36	-	72 修士(薬科学)	0.83	平成24年度	長崎市中心1丁目1番14号	
	(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	10	-	30 博士(学術) 博士(薬科学)	0.70	平成24年度	長崎市中心1丁目1番14号	
	熱帯医学・グローバルヘルス研究科								
	(博士前期課程) グローバルヘルス専攻	2	37	-	62 修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	1.29	平成27年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	(博士後期課程) グローバルヘルス専攻	3	5	-	15 博士(グローバルヘルス)	1.26	平成30年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	3	5	-	15 博士(グローバルヘルス)	1.40	平成30年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
プラネタリーヘルス学環	3	5	-	15 博士(公衆衛生学)	1.00	令和4年度	長崎市坂本1丁目12番4号	令和8年10月名称変更予定	
附属施設の概要	<p>(附置研究所)</p> <p>○熱帯医学研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：昭和24年5月(昭和42年6月風土病研究所から改称) 規模等：土地3,743㎡ 建物10,031㎡ 目的：熱帯医学に関する学理及びその応用を研究する。</p> <p>○原爆後障害医療研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成25年4月 規模等：土地1,986㎡ 建物4,845㎡ 目的：放射線の人体への影響を国内外のヒバクシャを対象として研究により究明して、人類の安全と安心に寄与する放射線健康リスク評価・管理学を实践し、全人的被ばく医療学を推進するとともに、国際的な放射線被ばく影響の実態調査、ヒバクシャの試料・資料の収集及びデータベースの構築を行う。</p> <p>○高度感染症研究センター 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：令和4年4月 規模等：土地598㎡ 建物3,384㎡ 目的：適切な安全管理の下に、有効な予防・治療法がなく致死率が高い感染症等に関する学理及びその応用を研究するとともに、高度な知識及び技術を修得した感染症研究者及び技術者の育成を図る。</p>								

<p>附属施設 の概要</p>	<p>(附置病院)</p> <p>○長崎大学病院 所在地：長崎市坂本1丁目7番1号 設置年月：昭和24年5月（平成21年4月医学部・歯学部附属病院を改組） 規模等：土地18,217㎡ 建物83,858㎡ 目的：患者の診療を通じて医歯薬学関連の教育及び研究を行う。</p> <p>(附置学校)</p> <p>目的： (1)教育基本法及び学校教育法に定める教育又は保育を行う。 (2)教育学部における児童若しくは生徒の教育又は幼児の保育に関する研究に協力し、教育学部の計画に従い、学生の教育実習の実施にあたる。 (3)教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行う。</p> <p>○教育学部附属幼稚園 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地1,364㎡ 建物1,148㎡</p> <p>○教育学部附属小学校 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地4,202㎡ 建物7,240㎡</p> <p>○教育学部附属中学校 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地3,711㎡ 建物7,663㎡</p> <p>○教育学部附属特別支援学校 所在地：長崎市柳谷町4番1号 設置年月：昭和46年4月 規模等：土地2,443㎡ 建物3,518㎡</p> <p>(学部等の附属施設)</p> <p>○水産学部附属練習船鶴洋丸 設置年月：昭和50年6月（現船平成16年12月） 規模等：アルミニウム合金船155トン 最大搭載人員36名 目的：航海・漁労実習，海洋環境観測，海洋生物資源調査</p> <p>○水産学部附属練習船長崎丸 設置年月：昭和27年3月（現船平成30年3月） 規模等：鋼船1,131トン 最大搭載人員70名 目的：トロール漁業実習，海洋学実習，航海運用実習</p> <p>○医歯薬学総合研究科附属先進予防医学研究センター 所在地：長崎県五島市三尾野1-7-1 設置年月：平成29年6月 規模等：土地4,826㎡ 建物39㎡ 目的：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科における先進予防医学研究に関する国内外の研究機関との共同研究の推進に寄与する。</p> <p>○医歯薬学総合研究科附属薬用植物園 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和47年5月（平成15年4月薬学部附属施設から医歯薬学総合研究科附属施設へ移行） 規模等：土地267㎡ 建物451㎡ 目的：園内に薬用植物を栽培し，もって学術研究及び教育に資する。</p> <p>○熱帯医学研究所附属アジア・アフリカ感染症研究施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地2,233㎡ 建物105㎡ 目的：アジアやアフリカにおける熱帯病・新興再興感染症の発生・拡大に関与する現地長期調査及び複合要因の解析並びに予防制圧に資する研究及び教育を行うことにより，当該分野の学術研究の進展及び人材育成に寄与する。</p> <p>○熱帯医学研究所附属熱帯医学ミュージアム 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地555㎡ 建物382㎡ 目的：熱帯医学に関する資料・情報を収集，整理，保存，解析及び提供するとともに，公衆への供覧等を行うことにより，熱帯医学に対する社会の理解を深め，学術研究の進展に寄与する。</p> <p>○長崎大学高度感染症研究センター附属BSL-4施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：令和4年4月 規模等：土地1,278㎡ 建物5,210㎡ 目的：適切な安全管理の下に，特定一種病原体等による感染症及び新興ウイルス感染症の克服に向けた最先端研究並びに感染症対策に資する研究及び教育を行うことにより，当該分野の学術研究の進展及び人材育成に寄与する。</p> <p>(学内共同教育研究施設等)</p> <p>○保健センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和41年4月（令和3年4月保健・医療推進センターを改組） 規模等：土地494㎡ 建物540㎡ 目的：長崎大学の学生及び職員の健康及び安全を守り，予防に努めるとともに，保健・医療分野での医療教育・研究を行う。</p>	
---------------------	--	--

<p>○教育開発推進機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成14年4月（令和2年7月大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組） 規模等：土地4,351㎡ 建物740㎡ 目的：長崎大学の教育改善及び入学選抜に係る支援並びに長崎県内における学校教育、社会教育等の地域教育向上に資するための支援を推進する。</p> <p>○ICT基盤センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成16年12月 規模等：土地755㎡ 建物1,137㎡ 目的：ICTを活用した教育研究環境を提供するため、情報政策の企画立案・実施、高度情報化技術に基づく情報基盤の整備、教育の情報化及び情報教育の推進を行う。</p> <p>○言語教育研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年4月 規模等：土地910㎡ 建物400㎡ 目的：本学における外国語教育に関する教育及び研究を推進するとともに、外国語教育の実施に関する企画運営を行う。</p> <p>○キャリアセンター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：令和元年4月 規模等：土地4,624㎡ 建物256㎡ 目的：長崎大学のキャリア教育・キャリア形成支援の企画、実施及び調査研究並びに就職支援全般に係る業務を学内関係部局及び社会・地域との連携を図りながら実施することにより、学生の主体的なキャリア形成の醸成に全学的に取り組む。</p> <p>○未来教育創造センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：令和7年4月 規模等：土地1,860㎡ 建物10,699㎡ 目的：長崎大学の教育・学生支援組織として、EdTech等のデジタル技術を活用した個別最適で協働的な学びを実現する教授法の確立及び教員養成機能の全学的支援により、Society 5.0社会を牽引する人材育成に資する。</p> <p>○障がい学生支援室 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成25年8月 規模等：土地436㎡ 建物57㎡ 目的：学内の関係部局等と連携を図りながら障がい学生への全学的な支援体制を強化し、もって障がい学生の円滑な修学に寄与する。</p> <p>○研究開発推進機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地8,821㎡ 建物2,575㎡ 目的：全学の学術研究及び産学官連携を推進し、もって長崎大学の教育研究の充実と社会貢献に資する。</p> <p>○海洋未来イノベーション機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成28年4月 規模等：土地6,673㎡ 建物7,081㎡ 目的：海洋エネルギー開発及び海洋環境保全・回復並びに海洋生物資源の持続的利用を同時に可能とするための融合研究プラットフォームを構築し、研究成果を社会に還元することにより、長崎県更には我が国の海洋未来産業の発展に寄与する。</p> <p>○放射線総合センター 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：令和3年10月（先導生命科学研究支援センターの改組） 規模等：土地641㎡ 建物2,652㎡ 目的：放射線に関する教育及び放射線管理に関する指導助言並びに放射線を用いる教育研究の推進及び支援を行い、もって本学の教育研究の進展に資する。</p> <p>○核兵器廃絶研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年4月 規模等：土地150㎡ 建物230㎡ 目的：ヒロシマ・ナガサキを現在の世界の潮流の中で新たに位置づけ、学問的調査・分析を通して核兵器廃絶に向けた情報や提言を様々な角度から世界に発信するため、長崎市、長崎県等と連携を図りながら核兵器廃絶に係る教育研究活動を行うことにより、もって本学の教育研究の進展に資する。</p> <p>○先端創薬イノベーションセンター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年1月 規模等：土地2,532㎡ 建物335㎡ 目的：基礎創薬技術を効率的に開発研究に結び付けることにより、迅速な製品開発を推進すること及び長崎大学病院臨床研究センターと協力し、臨床研究、早期臨床試験等を着実に実施することにより、臨床創薬段階にある研究テーマを迅速に治験段階へステージアップする。</p> <p>○環境保全センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地1,992㎡ 建物1,332㎡ 目的：本学の研究、教育等により生じた排水、重金属等含有廃液、有機溶媒等廃液、排ガス等による公害の発生を防止する。</p>

<p>附属施設 の概要</p>	<p>○グローバルリスク研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：令和6年6月 規模等：土地988㎡ 建物1,898㎡ 目的：部局横断的なグローバルリスクに関する研究を機能的に推進する。</p> <p>○グローバル連携機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地633㎡ 建物157㎡ 目的：長崎大学の特色を生かしたグローバルな教育研究活動を展開するとともに世界的に活躍し得る人材の育成を推進することにより、世界の平和と人類の福祉に貢献する大学の創出に資する。</p> <p>○留学生教育・支援センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地633㎡ 建物157㎡ 目的：外国人留学生並びに学部及び大学院への入学前における日本語等に関する予備教育を受ける者並びに外国の大学等に留学する日本人学生に対し、必要な教育及び指導助言を行うことにより、本学における外国人留学生の受入れ及び学生の海外留学の推進を図る。</p> <p>○子どもの心の医療・教育センター 所在地：長崎市坂本1丁目7番1号 設置年月：平成28年10月 規模等：土地1,027㎡ 建物36㎡ 目的：発達障害児等への医療的支援を踏まえた支援ができる高度な知識及び技術を有する人材を育成すること並びに医療、教育、療育、保健、福祉、就労等を行う関係機関との連携を強化してながさき子どもの心の支援ネットワークを構築する。</p> <p>○福島未来創造支援研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成26年4月 規模等：土地702㎡ 建物90㎡ 目的：東日本大震災により甚大な被害を受けた福島県に対する健康、医療、福祉、教育等の包括的かつ具体的な支援及び協力を行うことにより、福島県の未来創造に資する。</p>	
---------------------	---	--

補足資料（国立大学法人長崎大学 組織の移行表）

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
長崎大学				長崎大学				
多文化社会学部				多文化社会学部				
多文化社会学科	100	—	400	多文化社会学科	100	—	400	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	180	—	720	学校教育教員養成課程	180	—	720	
経済学部				経済学部				
総合経済学科(昼間コース)	295	15		総合経済学科(昼間コース)	295	15		
総合経済学科(夜間コース)	—	—	1,210	総合経済学科(夜間コース)	—	—	1,210	
医学部				医学部				
医学科	114	5	614	医学科	114	5	614	
保健学科	116	10	484	保健学科	116	10	484	
歯学部				歯学部				
歯学科	50	—	300	歯学科	50	—	300	
薬学部				薬学部				
薬学科	40	—	240	薬学科	40	—	240	
薬科学科	40	—	160	薬科学科	40	—	160	
情報データ科学部				情報データ科学部				
情報データ科学科	120	—	480	情報データ科学科	120	—	480	
工学部				工学部				
工学科	330	—	1,320	工学科	330	—	1,320	
環境科学部				環境科学部				
環境科学科	130	5	530	環境科学科	130	5	530	
水産学部				水産学部				
水産学科	120	—	480	水産学科	120	—	480	
計	1,635	5 30	6,938	計	1,635	5 30	6,938	
長崎大学大学院				長崎大学大学院				
多文化社会学研究科				多文化社会学研究科				
多文化社会学専攻(M)	10		20	多文化社会学専攻(M)	10		20	
多文化社会学専攻(D)	3		9	多文化社会学専攻(D)	5		15	入学定員増(2)
				グローバルリスク研究院の内数とする定員	(2)		(6)	※2
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践専攻(P)	28		56	教職実践専攻(P)	28		56	
経済学研究科				経済学研究科				
経済経営政策専攻(M)	15		30	経済経営政策専攻(M)	15		30	
経営意思決定専攻(D)	3		9	経営意思決定専攻(D)	3		9	
総合生産科学研究科				総合生産科学研究科				
総合生産科学専攻(博士前期課程)	315		630	総合生産科学専攻(博士前期課程)	315		630	
総合生産科学専攻(博士後期課程)	55		165	総合生産科学専攻(博士後期課程)	55		165	
総合生産科学専攻(5年一貫博士課程)	5		25	総合生産科学専攻(5年一貫博士課程)	5		25	
医歯薬学総合研究科				医歯薬学総合研究科				
保健学専攻(M)	30		60	保健学専攻(M)	30		60	
災害・被災(医療科学共同専攻(M))	10		20	災害・被災(医療科学共同専攻(M))	10		20	
医療科学専攻(D)	60		240	医療科学専攻(D)	60		240	
新興感染症病態制御学系専攻(D)	20		80	新興感染症病態制御学系専攻(D)	20		80	
放射線医療科学専攻(D)	5		20	放射線医療科学専攻(D)	8		32	入学定員増(3)
				グローバルリスク研究院の内数とする定員	(3)		(9)	※2
先進予防医学共同専攻(D)	10		40	先進予防医学共同専攻(D)	10		40	
生命薬科学専攻(M)	36		72	生命薬科学専攻(M)	36		72	
生命薬科学専攻(D)	10		30	生命薬科学専攻(D)	7		21	入学定員減(▲3)
熱帯医学・グローバルヘルス研究科				熱帯医学・グローバルヘルス研究科				
グローバルヘルス専攻(M)	37		62	グローバルヘルス専攻(M)	37		62	
グローバルヘルス専攻(D)	10		30	グローバルヘルス専攻(D)	10		30	
ブラネタリーヘルス学環の内数とする定員	(5)		(15)	グローバルヘルス研究院の内数とする定員	(5)		(15)	※3
長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻(D)	5		15	長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻(D)	5		15	
ブラネタリーヘルス学環(D)	5		15	グローバルヘルス研究院(D)	5		15	名称変更
計	667		1,613	計	669		1,622	研究科等連携課程実施基本組織の設置(設置報告)

※1 ()内の数字は、熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻(D)から、ブラネタリーヘルス学環(D)に活用する入学定員及び収容定員とし、内数とする。

※2 ()内の数字は、多文化社会学研究科多文化社会学専攻(D)及び医歯薬学総合研究科放射線医療科学専攻(D)から、グローバルリスク研究院(D)に活用する入学定員及び収容定員とし、内数とする。

※3 ()内の数字は、熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻(D)から、グローバルヘルス研究院(D)に活用する入学定員及び収容定員とし、内数とする。

設置の前後における学位等及び基幹教員の所属の状況

届出時における状況					新設了学部等の学年進行状況						
学部等の名称	授与する学位等		異動先	基幹教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	基幹教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	博士(学術)	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	23	11	グローバルリスク研究院(兼務)	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻 (兼務)	10	4	10	4
			グローバルリスク研究院(兼務)	10	4						
			計	23	11						
経済学研究科 経営意思決定専攻	博士(経営学)	経済学関係	経済学研究科 経営意思決定専攻	21	7	グローバルリスク研究院(兼務)	経済学研究科 経営意思決定専攻 (兼務)	3	2	3	2
			グローバルリスク研究院(兼務)	3	2						
			計	21	7						
医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	130	76	グローバルリスク研究院(兼務)	医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 (兼務)	0	0	0	0
			グローバルリスク研究院(兼務)	0	0						
			計	130	76						
医歯薬学総合研究科 新興感染症病態 制御学系専攻	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 新興感染症病態 制御学系専攻	38	25	グローバルリスク研究院(兼務)	医歯薬学総合研究科 新興感染症病態 制御学系専攻 (兼務)	0	0	0	0
			グローバルリスク研究院(兼務)	0	0						
			計	38	25						
医歯薬学総合研究科 放射線医療科学 専攻	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻	11	6	グローバルリスク研究院(兼務)	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻 (兼務)	3	3	3	3
			グローバルリスク研究院(兼務)	3	3						
			計	11	6						
医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同 専攻	博士(医学)	医学関係	医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	19	8	グローバルリスク研究院(兼務)	医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 (兼務)	3	3	3	3
			グローバルリスク研究院(兼務)	3	3						
			計	19	8						
					グローバルリスク研究院						
					博士(学術)						
					文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係 経済学関係 医学関係						
					計						
					19						
					12						

基礎となる学部等の改編状況

【多文化社会学研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成30年4月	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻(修士課程)設置	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	意見伺い(研究科の設置)
令和2年4月	多文化社会学専攻(博士後期課程)設置 多文化社会学専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	意見伺い(研究科の専攻に係る課程の変更)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)
令和8年10月	研究科等連係課程実施基本組織 グローバルリスク研究院 設置	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係 経済学関係 医学関係	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

基 礎 と な る 学 部 等 の 改 編 状 況

【経済学研究科】

開設又は 改編時期	改 編 内 容 等	学 位 学 科 の 又 分 野	手 続 きの 区 分
平成7年4月	経済学研究科 経済経営政策専攻(修士課程)設置	経済学関係	設置申請(研究科)
平成16年4月	経営意思決定専攻(博士後期課程)設置 経済経営政策専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	経済学関係	設置申請(研究科の専攻の 設置)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及 びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課 程実施基本組織の設置)
令和8年10月	研究科等連係課程実施基本組織 グローバルリスク研究院 設置	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係 経済学関係 医学関係	設置報告(研究科等連係課 程実施基本組織の設置)

基礎となる学部等の改編状況

【医歯薬学総合研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位の 又は 分野	手続きの区分
平成14年4月	医歯薬学総合研究科(4専攻)設置		設置申請(研究科)
	・医療科学専攻(博士課程)	医学関係 歯学関係	
	・新興感染症病態制御学系専攻(博士課程)	医学関係 薬学関係	
	・放射線医療科学専攻(博士課程)	医学関係 歯学関係 薬学関係	
	・生命薬科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)	薬学関係	
平成18年4月	保健学専攻(修士課程)設置	保健衛生学関係(看護学関係) 保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	設置申請(研究科の専攻の設置)
	熱帯医学専攻(修士課程)設置	医学関係	設置申請(研究科の専攻の設置)
	新興感染症病態制御学系専攻(博士課程)学位の分野(歯学関係)の追加	医学関係 歯学関係 薬学関係	—
平成22年4月	生命薬科学専攻(修士課程)設置	薬学関係	事前伺い(研究科の専攻の設置)
	生命薬科学専攻(博士前期課程) 学生募集停止	—	—
平成24年4月	医療科学専攻(博士課程)課程変更	医学関係 歯学関係 薬学関係	事前伺い(研究科の専攻の課程変更)
	生命薬科学専攻(博士後期課程)課程変更 生命薬科学専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	薬学関係	事前伺い(研究科の専攻の課程変更)
平成27年10月	熱帯医学専攻(修士課程) 学生募集停止	—	—
平成28年4月	災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)設置 ※福島県立医科大学大学院医学研究科との共同専攻	医学関係 保健衛生学関係(看護学関係)	事前伺い(研究科の専攻の設置)
	先進予防医学共同専攻(博士課程)設置 ※千葉大学大学院医学薬学府, 金沢大学大学院先進予防医学研究科との共同専攻	医学関係	事前伺い(研究科の専攻の設置)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)
令和8年10月	研究科等連係課程実施基本組織 グローバルリスク研究院 設置	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係 経済学関係 医学関係	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(グローバルリスク研究院（研究科等連係課程実施基本組織）)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員		
専門科目	プラネタリーヘルス	プラネタリーヘルス特論	1前	/	2			○			4	4				19	オムニバス	
		グローバルリスク特論Ⅰ	1前	/	1			○					2		2		1	オムニバス
		グローバルリスク特論Ⅱ-a	1後	/		1			○			6					4	オムニバス
		グローバルリスク特論Ⅱ-b	1後	/		1			○			2	2				6	オムニバス
		小計（4科目）	-	-	3	2	0		-			10	4	0	2	0	29	
	政策とシステム	実装科学特論	1③	/	1			○			1						3	オムニバス
		政策過程特論	1④	/	1			○			2	2					2	オムニバス
		小計（2科目）	-	-	2	0	0		-		3	2	0	0	0	5		
	データと分析	政策分析法特論	2②	/	1			○									4	オムニバス
		小計（1科目）	-	-	1	0	0		-		0	0	0	0	0	4		
	リーディングセッションと実習科目	組織マネジメント	組織マネジメント特論	1①	/	1			○								1	
			渉外マネジメント特論	1②	/	1			○								1	
			グローバルガバナンス特論	2①	/	1			○			2					3	オムニバス
		小計（3科目）	-	-	3	0	0		-		2	0	0	0	0	4		
	実習科目	実務研修	1夏期	/	2					○	11	5		2				
小計（1科目）		-	-	2	0	0		-		11	5	0	2	0	0			
演習科目	プロジェクト演習	2④～3通	/	4				○		11	5		2					
	小計（1科目）	-	-	4	0	0		-		11	5	0	2	0	0			
合計（12科目）		-	-	15	2	0		-		12	5	0	2	0	38			
学位又は称号		博士（学術）			学位又は学科の分野			文学，法学，社会学・社会福祉学，経済学，医学										
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等									
3年以上在学し，必修科目16単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお，選択科目の「グローバルリスク特論Ⅱ-a」と「グローバルリスク特論Ⅱ-b」については，いずれかを修得すること。									1学年の学期区分				4期					
									1学期の授業期間				10週					
									1時限の授業の標準時間				90分					

教 育 課 程 等 の 概 要															
【既設研究科】 多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
講義科目	多文化社会学特別演習Ⅰ	1前	/	2				○		11	10		2		8
	多文化社会学特別演習Ⅱ	1後	/	2				○		11	10		2		8
	小計（2科目）	—	—	4	0	0		—		11	10	0	2	0	8
演習科目	研究演習Ⅰ	1通	/	4				○		11	10		2		8
	研究演習Ⅱ	2通	/	4				○		11	10		2		8
	小計（2科目）	—	—	8	0	0		—		11	10	0	2	0	8
導研究目指	研究指導	3通	/	4				○		11	10		2		8
	小計（1科目）	—	—	4	0	0		—		11	10	0	2	0	8
合計（5科目）				—	—	16	0	0	—	11	10	0	2	0	8
学位又は称号		博士（学術）		学位又は学科の分野			文学関係，法学関係，社会学・社会福祉学関係								
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等								
3年以上在学し，16単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。							1学年の学期区分			2期（4クォータ）※					
							1学期の授業期間			15週（7.5週）※					
							1時限の授業の標準時間			90分					
※ 本学では，2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2期に分け，前期を4月1日から9月30日まで，後期を10月1日から翌年3月31日までとし，前期の前半を第1クォータ，後半を第2クォータ，後期の前半を第3クォータ，後半を第4クォータとしている。															

教 育 課 程 等 の 概 要																
【既設研究科】 経済学研究科 経営意思決定専攻 (博士後期課程)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外(助手を除く)の教員	
意思決定基礎	トップマネジメント特論	1・2・3前	/		2		○			1						
	企業行動原理特論	1・2・3前	/		2		○				1		1			
	ゲーム理論特論	1・2・3前	/		2		○				2					
	決定分析特論	1・2・3前	/		2		○				2					
	経営情報分析特論	1・2・3前	/		2		○			1						
	経済・経営史特論	1・2・3前	/		2		○				1					
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	—	—	—	2	6	0	1	0	0	
意思決定応用	人的資源管理特論	1・2・3後	/		2		○				1		1			
	会計学特論	1・2・3後	/		2		○			2						
	企業ファイナンス特論	1・2・3後	/		2		○					1				
	金融システム特論	1・2・3後	/		2		○			1						
	金融ファイナンス特論	1・2・3後	/		1		○					1				
	国際経済学特論	1・2・3後	/		2		○				1					
	現代世界経済特論	1・2・3後	/		2		○				1					
	開発経済学特論	1・2・3後	/		2		○			1						
	公共経済学特論	1・2・3後	/		2		○			1						
	国際関係特論	1・2・3後	/		2		○				1					
小計(10科目)	—	—	0	20	0	—	—	—	5	4	0	2	0	0		
演習	テーマサーベイ	1通	/	4			○			6						
	リサーチ演習	2通	/	6			○			6						
	特別演習	3通	/	6			○			6						
	小計(3科目)	—	—	16	0	0	—	—	—	6						
合計(19科目)		—	—	16	32	0	—	—	—	7	11	0	3	0	0	
学位又は称号	博士(経営学)			学位又は学科の分野			経済学関係									
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。									1学年の学期区分			2期				
									1学期の授業期間			15週				
									1時限の授業の標準時間			90分				

教育課程等の概要																
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 (博士課程)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員
共通科目	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④		2			○			7	5			5	
		小計 (1科目)	—	—	2	0	0	—			7	5	0	0	0	5
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④			1			○			1				1
		医療情報学	1・2③			1			○			3	1			1
		国際・熱帯医学	1・2②			1			○							10
		小計 (3科目)	—	—	0	3	0	—			4	1	0	0	0	12
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③			1			○			2				
		分子細胞生物学	1・2③			1			○			1	1			2
		ゲノム科学	1・2④			1			○				1			5
		生体材料科学	1・2①			1			○			3	1			
		硬組織疾患特論	1・2②			1			○			4			2	1
		医薬品化学	1・2②			1			○							5
		生体分子解析学	1・2④			1			○							3
		腫瘍診断治療学	1・2④			1			○			1	1		1	6
		移植・再生医療学特論	1・2①			1			○			4	1			3
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①			1			○				2			
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②			1			○			5				2
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④			1			○			2				1
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通			1			○			1				
		先端医療科学特論(臨床編)	1・2通			1			○			1				
		先端新興感染症病態制御学特論	1・2通			1			○							1
		先端放射線医療科学特論	1・2通			1			○							1
		先端臨床試験特論	1・2②			1			○			1				4
	小計 (17科目)	—	—	—	0	17	0	—			21	7	0	3	0	26
	生命医療科学実習	先端機器・特殊技術実習	1・2②			0	1	0	—			1				
		小計 (1科目)	—	—	—	0	1	0	—			1	0	0	0	0
がん ブ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 養 成 コ ー ス	がん個別化医療専門医師・歯科 医師養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ	1・2前		1			○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅱ	1・2後		1			○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅲ	1・2前		1			○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅳ	1・2後		1			○			1					
		がん個別化医療実習	1・2通		2					○	1				2	
	小計 (5科目)	—	—	2	4	0	—			1	0	0	0	0	2	
	多面的がん診療専門医師・歯科 医師養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ	1・2前			1			○			1				
		集学的がん治療学特論Ⅱ	1・2後			1			○			1				
		集学的がん治療学特論Ⅲ	1・2前			1			○			1				
		集学的がん治療学特論Ⅳ	1・2後			1			○			1				
多面的がん治療学実習		1・2通		2						1				4		
在宅・地域医療実習	1・2通			1					○	1						
離島・僻地病院実習	1・2通			2					○	1						
小計 (7科目)	—	—	2	7	0	—			1	0	0	0	0	4		
医療科学専攻	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○			1		2		1	
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○			1	1	2			
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2				○			1	1	2		
		組織細胞生物学演習	1・2④		2				○			1	1	2		
		内臓機能生理学演習	1・2④		2				○			1				
		生化学演習	1・2④		2				○			1				2
		腫瘍医学演習	1・2④		2				○			1		1		1
		分子標的医学演習	1・2④		2				○			1				3
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2				○			1				
		医科薬理学演習	1・2④		2				○			1				2
		歯科薬理学演習	1・2④		2				○			1			1	1
		病理診断科学演習	1・2④		2				○			1				
		基礎病理学演習	1・2④		2				○							2
		情報病理学演習	1・2④		2				○			1				1
		口腔病理学演習	1・2④		2				○				1		1	
		生体材料学演習	1・2④		2				○			1				
		分子腫瘍生物学演習	1・2④		2				○			1				
		法医学演習	1・2④		2				○			1				
		臨床疫学演習	1・2④		2				○			1				
		比較動物医学演習	1・2④		2				○			1				
		バイオメディカルモデル動物学演習	1・2④		2				○			1				
		ゲノム機能解析学演習	1・2④		2				○				1			
		フロンティア口腔科学演習	1・2④		2				○			1	1			1
		口腔保健学演習	1・2④		2				○			1				
		眼科・視覚科学演習	1・2④		2				○				1			1

教育課程等の概要																	
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻(博士課程)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員	
医療科学専攻	研究支援科目	耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④			2			○							1	
		脳神経外科学演習	1・2④			2			○		1	1					
		麻酔集中治療医学演習	1・2④			2			○		1	2					
		心臓血管外科学演習	1・2④			2			○		1						
		泌尿器科学演習	1・2④			2			○		1	1					1
		腫瘍外科学演習	1・2④			2			○		1						1
		移植・消化器外科学演習	1・2④			2			○		1	1					2
		産科婦人科学演習	1・2④			2			○		1						
		整形外科演習	1・2④			2			○		1	1		1			3
		形成再建外科学演習	1・2④			2			○		1						
		精神神経科学演習	1・2④			2			○		1						
		国際・地域精神健康科学演習	1・2④			2			○		1						
		皮膚病態学演習	1・2④			2			○		1	1					1
		循環器内科学演習	1・2④			2			○		1	1					1
		消化器内科学演習	1・2④			2			○		1	1					1
		呼吸器内科学演習	1・2④			2			○		1	1	1				
		病態解析・診断学演習	1・2④			2			○		1	1		1			1
		小児科学演習	1・2④			2			○		1						1
		放射線診断治療学演習	1・2④			2			○		1	1					
		臨床腫瘍学演習	1・2④			2			○		1						2
		歯科麻酔学演習	1・2④			2			○			1					
		歯科矯正学演習	1・2④			2			○			1					
		歯周歯内治療学演習	1・2④			2			○		1	1					
		口腔インプラント学演習	1・2④			2			○		1						
		歯科補綴学演習	1・2④			2			○				1				
		口腔顎顔面外科学演習	1・2④			2			○		1	1					2
		口腔診断・情報科学演習	1・2④			2			○		1	1					
		先進口腔医療開発学演習	1・2④			2			○		1	1					
		看護学演習	1・2④			2				○	5	1					
		理学療法学演習	1・2④			2				○	3						
		作業療法学演習	1・2④			2				○	2						
		保健科学演習	1・2④			2				○	4						
		先端臨床薬学特論	1・2④			1				○	1	1					
		先端薬物治療学特論	1・2④			1				○	1						
		薬物治療学演習	1・2④			2				○	1	1					
		医薬品情報学演習	1・2④			2				○	1	1					
		薬剤学演習	1・2④			2				○	1	1					
		実践薬学演習	1・2④			2				○	1						
		分子病態化学演習	1・2④			2				○	1	1		1			
		予防医学演習	1・2④			2				○		1					
		先端創薬学演習	1・2④			2				○	1						
		内分泌・代謝内科学演習	1・2④			2				○							1
		脳神経内科学演習	1・2④			2				○	1						
		腎臓内科学演習	1・2④			2				○	1	1					1
		救命救急医療学演習	1・2④			2				○	1						2
		リハビリテーション学演習	1・2④			2				○							1
		脳神経病態学演習	1・2④			2				○		1					
		神経免疫学演習	1・2④			2				○	1						
		地域包括ケア学演習	1・2④			2				○	1						
		包括的腫瘍学演習	1・2④			2				○	3	1					
がん個別化医療実習	1・2通			2				○	1						2		
免疫学演習	1・2③			2				○							2		
感染分子解析学演習	1・2③			2				○							2		
臨床感染症学演習	1・2③			2				○							2		
ウイルス学演習	1・2②			2				○							1		
口腔病原微生物学演習	3・4②			2				○							1		
臨床微生物学特論	1・2④			1				○	1								
感染症学特論	1・2④			1				○									
臨床感染症学実習	1・2④			2				○							3		
感染制御学実習	1・2④			1				○							4		
短期海外臨床研修	1・2④			1				○							3		
熱帯ウイルス病学演習	1・2④			2				○							1		
病原細菌学演習	1・2④			2				○							3		
病原原虫学演習	1・2④			2				○							4		
原虫生化学演習	1・2④			2				○							1		

教育課程等の概要															
【既設研究科】医歯薬学総合研究科 医療科学専攻(博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療科学専攻	研究支援科目	熱帯寄生虫学演習	1・2④			2			○						1
		熱帯保健医療情報学演習	1・2④			2			○						2
		国際保健学演習	1・2④			2			○						2
		病害動物学演習	1・2④			2			○						1
		臨床熱帯医学演習	1・2④			2			○						1
		熱帯小児感染症学演習	1・2④			2			○						1
		熱帯微生物学演習	1・2④			2			○						1
		新興ウイルス感染症学演習	1・2④			2			○						3
		ウイルス感染制御学演習	1・2④			2			○						2
		ウイルス生態学演習	1・2④			2			○						1
		ウイルス免疫動態学演習	1・2④			2			○						1
		ワクチン開発特論	1・2④			2			○						2
		臓器統合制御学演習	1・2④			2			○						1
		医療政策学演習	1・2④			2			○						1
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④			2			○						1
		先端医療学演習	1・2④			2			○						1
		機能形態学演習	1・2④			2			○						1
		臨床病理学演習	1・2④			2			○						1
		基礎抗酸菌症学演習	1・2④			2			○						2
		臨床抗酸菌症学演習	1・2④			2			○						3
		放射線生物・防護学演習	1・2④			2			○						1
		幹細胞生物学演習	1・2④			2			○						2
		血液内科学演習	1・2④			2			○						2
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④			2			○						2
		国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④			2			○						1
		健康社会統計学演習	1・2④			2			○						2
		神経機能学演習	1・2④			2			○						2
		公衆衛生学演習	1・2④			2			○						2
		医療情報学演習	1・2④			2			○						1
		地域医療学演習	1・2④			2			○						2
		リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④			2			○						3
		総合診療学演習	1・2④			2			○						2
		人類遺伝学演習	1・2④			2			○						2
組織修復学演習	1・2④			2			○						1		
研究支援科目	腫瘍・診断病理学演習	1・2④			2			○						1	
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ(医療科学)	1・2①		2			○		71	33	7	5	33	
		課題研究Ⅱ(医療科学)	1・2③		2			○		72	32	7	5	33	
	実習科目	特別実習Ⅰ(医療科学)	2・3②		2				○	72	31	7	5	34	
		特別実習Ⅱ(医療科学)	2・3④		2				○	71	30	7	5	36	
	論文研究	論文研究Ⅰ(医療科学)	3・4①		4				○	72	32	7	5	32	
論文研究Ⅱ(医療科学)		3・4③		4				○	71	33	7	5	32		
	小計(131科目)	-	-	16	244	0		-	72	34	7	5	0	105	
専攻コース	コース科目	専門薬剤師養成実習(感染制御)	2・3後		4				○	2					
		専門薬剤師養成実習(糖尿病)	2・3通		4				○	1					
		専門薬剤師養成実習(精神科)	2・3通		4					○	1				
		専門薬剤師養成実習(妊婦・授乳婦)	2・3前		4					○	3				
		コーディネーター養成実習	2・3前		4					○	2				
	小計(5科目)	-	-	0	20	0		-	7	0	0	0	0	0	

教育課程等の概要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 (博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ハイブリッド医療人養成コース	コース科目	臨床先端医療機器特論	1・2通		3			○			2				2
		臨床先端医療機器実習	1・2通		2				○		2				4
		ロボティクス特論	1・2前		2			○							1
		超精密加工・計測学特論	1・2後		2			○							1
		応用材料強度学Ⅰ	1・2前		2			○							1
		電気駆動システム設計特論	1・2後		2			○							1
		画像応用システム特論	1・2前		2			○							1
		映像情報処理特論	1・2前		2			○							1
		無機複合物性学	1・2前		2			○							1
		先端高分子科学特論	1・2後		2			○							1
		先進センシング科学特論	1・2③		2			○							1
		先端高分子材料科学特論	1・2④		2			○							1
		学外連携セミナー	1・2通		2					○		1			
小計 (13科目)		—	—	5	22	0	—	—	—	3	0	0	0	0	14
究地医域養成包括コアス研	コース科目	地域包括ケア特論	1・2後		3			○			1				
		地域包括ケア演習	1・2後		2				○		1				
		地域包括ケア実習	1・2前		2					○		1			
		在宅・地域医療実習	1・2通		1					○		1			
		離島・僻地病院実習	1・2通		2					○		1			
		小計 (5科目)	—	—	0	10	0	—	—	—	3	0	0	0	0
合計 (188科目)		—	—	27	328	0	—	—	—	76	40	7	7	0	159
学位又は称号		博士 (学術), 博士 (医学), 博士 (歯学), 博士 (薬学)			学位又は学科の分野			医学関係, 歯学関係, 薬学関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等						
4年以上在学し, 以下に記載する最低修得単位数を修得し, かつ, 必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。医療科学専攻及び各コースの必要単位は, 以下のとおりである。 ○医療科学専攻 (コースに所属しない場合) (共通科目) 合計8単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2単位 2. 生命医療科学概論 2単位以上 3. 生命医療科学特論, 生命医療科学実習 4単位以上 (研究支援科目) 合計14単位以上 1. 必修科目 8単位 (「課題研究Ⅰ (医療科学)」, 「課題研究Ⅱ (医療科学)」, 「特別実習Ⅰ (医療科学)」, 「特別実習Ⅱ (医療科学)」) 2. 選択科目 6単位以上 ※研究科 (修士課程及び博士前期課程を除く。) が開設するすべての授業科目から, 科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 (論文研究) 8単位 ○がん個別化医療専門医師・歯科医師養成コース (共通科目) 合計4単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2単位 2. 生命医療科学概論 1単位以上 3. 生命医療科学特論 1単位 (「包括的腫瘍学特論 (基礎編)」) (コース科目) 6単位 (「集学的がん治療学特論Ⅰ」, 「集学的がん治療学特論Ⅱ」, 「集学的がん治療学特論Ⅲ」, 「集学的がん治療学特論Ⅳ」, 「がん個別化医療実習」) (研究支援科目) 合計14単位以上 1. 必修科目 8単位 (「課題研究Ⅰ (医療科学)」, 「課題研究Ⅱ (医療科学)」, 「特別実習Ⅰ (医療科学)」, 「特別実習Ⅱ (医療科学)」) 2. 選択科目 6単位以上 ※研究科 (修士課程及び博士前期課程を除く。) が開設するすべての授業科目から, 科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 (論文研究) 8単位									1学年の学期区分			2期 (4クォータ) ※			
									1学期の授業期間			15週 (7.5週) ※			
									1時限の授業の標準時間			90分			

教 育 課 程 等 の 概 要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
<p>○多面的がん診療専門医師・歯科医師養成コース （共通科目） 合計4単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2単位 2. 生命医療科学概論 1単位以上 3. 生命医療科学特論 1単位（「包括的腫瘍学特論（臨床編）」） （コース科目） 合計6単位以上 1. 選択科目 4単位以上（「集学的がん治療学特論Ⅰ」、「集学的がん治療学特論Ⅱ」、「集学的がん治療学特論Ⅲ」、「集学的がん治療学特論Ⅳ」、「在宅・地域医療実習」、「離島・僻地病院実習」） ※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を1単位以上履修する。 2. 必修科目 2単位（「多面的がん治療学実習」） （研究支援科目） 合計14単位以上 1. 必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（医療科学）」、「課題研究Ⅱ（医療科学）」、「特別実習Ⅰ（医療科学）」、「特別実習Ⅱ（医療科学）」） 2. 選択科目 6単位以上 ※研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位</p> <p>○専門薬剤師養成コース及びコーディネーター養成コースの最低修得単位数 （共通科目） 合計8単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2単位 2. 生命医療科学概論 2単位以上 3. 生命医療科学特論、生命医療科学実習 4単位以上 （コース科目） 研究科が開設する病院における実習（備考1） 4単位 （研究支援科目） 合計12単位以上 1. 必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（医療科学）」、「課題研究Ⅱ（医療科学）」、「特別実習Ⅰ（医療科学）」、「特別実習Ⅱ（医療科学）」） 2. 選択科目（備考2） 4単位以上 （論文研究） 8単位 合計 32単位以上</p> <p>備考 1 研究科が開設する病院における実習について、1コースを選択すること。ただし、2コースまで選択することができる。 2 研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。</p> <p>○ハイブリッド医療人養成コースの最低修得単位数 （共通科目） 生命医療科学セミナー 2単位 生命医療科学概論、生命医療科学特論 1単位以上 （コース科目） 臨床先端医療機器特論 3単位 臨床先端医療機器実習 2単位 ロボティクス特論、超精密加工・計測学特論、応用材料強度学Ⅰ、電気駆動システム設計特論、画像応用システム特論、映像情報処理特論、無機複合物性学、先端高分子科学特論、先進センシング科学特論、先端高分子材料科学特論、学外連携セミナー 4単位以上 （研究支援科目） 必修科目 8単位 選択科目（備考） 4単位以上 （論文研究） 8単位 合計 32単位以上 備考 研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。</p> <p>○地域包括ケア研究医養成コースの最低修得単位数 （共通科目） 生命医療科学セミナー 2単位 生命医療科学概論、生命医療科学特論 1単位以上 （コース科目） 地域包括ケア特論、地域包括ケア演習、地域包括ケア実習、在宅・地域医療実習、離島・僻地病院実習 7単位以上 （研究支援科目） 必修科目 8単位 選択科目（備考） 6単位以上 （論文研究） 8単位 合計 32単位以上 備考 研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。</p> <p>※本学では、2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は、前期及び後期の2期に分け、前期を4月1日から9月30日まで、後期を10月1日から翌年3月31日までとし、前期の前半を第1クォータ、後半を第2クォータ、後期の前半を第3クォータ、後半を第4クォータとしている。</p>															

教育課程等の概要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	生命医科学セミナー	生命医科学トピックス	1・2④	/	2		○								17
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	17
	生命医科学概論	生命倫理学	1・2④	/	1		○			1					2
		医療情報学	1・2③	/	1		○			7	1				6
		国際・熱帯医学	1・2②	/	1		○								2
		小計（3科目）	—	—	0	3	0	—		7	1	0	0	0	10
	生命医科学特論	生物統計学	1・2③	/	1		○								2
		分子細胞生物学	1・2③	/	1		○								4
		ゲノム科学	1・2④	/	1		○			1					5
		生体材料科学	1・2①	/	1		○								6
		硬組織疾患特論	1・2②	/	1		○			1					6
		医薬品化学	1・2②	/	1		○								5
		生体分子解析学	1・2④	/	1		○								3
		腫瘍診断治療学	1・2④	/	1		○								9
		移植・再生医学特論	1・2①	/	1		○								8
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①	/	1		○								2
		包括的腫瘍学特論（基礎編）	1・2②	/	1		○								7
包括的腫瘍学特論（臨床編）		1・2④	/	1		○								3	
先端医療科学特論（基礎編）		1・2通	/	1		○								1	
先端医療科学特論（臨床編）	1・2通	/	1		○			1							
先端新興感染症病態制御学特論	1・2通	/	1		○			1							
先端放射線医療科学特論	1・2通	/	1		○								1		
先端臨床試験特論	1・2②	/	1		○								5		
小計（17科目）	—	—	—	0	17	0	—		2	0	0	0	0	64	
生命医科学実習	先端機器・特殊技術実習	1・2②	/	1				○						1	
小計（1科目）	—	—	—	0	1	0	—		0	0	0	0	0	1	
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④	/	2		○							4	
		組織細胞生物学演習	1・2④	/	2		○							4	
		顎顔面解剖学演習	1・2④	/	2		○							1	
		組織細胞生物学演習	1・2④	/	2		○							4	
		内臓機能生理学演習	1・2④	/	2		○							1	
		生化学演習	1・2④	/	2		○			1				1	
		腫瘍医学演習	1・2④	/	2		○							3	
		分子標的医学演習	1・2④	/	2		○							2	
		加齢口腔生理学演習	1・2④	/	2		○							4	
		医科薬理学演習	1・2④	/	2		○							3	
		歯科薬理学演習	1・2④	/	2		○							3	
		病理診断科学演習	1・2④	/	2		○							1	
		基礎病理学演習	1・2④	/	2		○							2	
		情報病理学演習	1・2④	/	2		○							2	
		口腔病理学演習	1・2④	/	2		○							2	
		生体材料学演習	1・2④	/	2		○							1	
		分子腫瘍生物学演習	1・2④	/	2		○							1	
		法医学演習	1・2④	/	2		○							1	
		臨床疫学演習	1・2④	/	2		○							1	
		比較動物医学演習	1・2④	/	2		○							1	
		バイオメディカルモデル動物学演習	1・2④	/	2		○							1	
		ゲノム機能解析学演習	1・2④	/	2		○							1	
		フロンティア口腔科学演習	1・2④	/	2		○							3	
		口腔保健学演習	1・2④	/	2		○							1	
		眼科・視覚科学演習	1・2④	/	2		○							2	
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④	/	2		○							1	
		脳神経外科学演習	1・2④	/	2		○							2	
		麻酔集中治療医学演習	1・2④	/	2		○							3	
		心臓血管外科学演習	1・2④	/	2		○							1	
		泌尿器科学演習	1・2④	/	2		○							3	
		腫瘍外科学演習	1・2④	/	2		○							2	
		移植・消化器外科学演習	1・2④	/	2		○							4	
産科婦人科学演習	1・2④	/	2		○							1			
整形外科科学演習	1・2④	/	2		○							6			
形成再建外科学演習	1・2④	/	2		○							1			
精神神経科学演習	1・2④	/	2		○							1			
国際・地域精神健康科学演習	1・2④	/	2		○							1			

教育課程等の概要																
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く）教員
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	皮膚病態学演習	1・2④			2			○								3
	循環器内科学演習	1・2④			2			○								3
	消化器内科学演習	1・2④			2			○								2
	呼吸器内科学演習	1・2④			2			○								3
	病態解析・診断学演習	1・2④			2			○								4
	小児科学演習	1・2④			2			○								2
	放射線診断治療学演習	1・2④			2			○								2
	臨床腫瘍学演習	1・2④			2			○								3
	歯科麻酔学演習	1・2④			2			○								1
	歯科矯正学演習	1・2④			2			○								1
	歯周歯内治療学演習	1・2④			2			○								2
	口腔インプラント学演習	1・2④			2			○								1
	歯科補綴学演習	1・2④			2			○								1
	口腔顎顔面外科学演習	1・2④			2			○								4
	口腔診断・情報科学演習	1・2④			2			○								2
	先進口腔医療開発学演習	1・2④			2			○								2
	看護学演習	1・2④			2				○							6
	理学療法学演習	1・2④			2				○							3
	作業療法学演習	1・2④			2				○							2
	保健科学演習	1・2④			2				○							4
	先端臨床薬学特論	1・2④			1				○							2
	先端薬物治療学特論	1・2④			1				○							1
	薬物治療学演習	1・2④			2				○							2
	医薬品情報学演習	1・2④			2				○							2
	薬剤学演習	1・2④			2				○							2
	実践薬学演習	1・2④			2				○							1
	分子病態化学演習	1・2④			2				○							3
	予防医学演習	1・2④			2				○							1
	先端創薬学演習	1・2④			2				○							1
	内分泌・代謝内科学演習	1・2④			2				○							1
	脳神経内科学演習	1・2④			2				○							1
	腎臓内科学演習	1・2④			2				○							3
	救命救急医療学演習	1・2④			2				○							3
	リハビリテーション学演習	1・2④			2				○							1
	脳神経病態学演習	1・2④			2				○							1
	神経免疫学演習	1・2④			2				○							1
	地域包括ケア学演習	1・2④			2				○							1
	包括的腫瘍学演習	1・2④			2				○							4
	免疫学演習	1・2③			2						1					
	感染分子解析学演習	1・2③			2							1				1
	臨床感染症学演習	1・2③			2							1	1			
	ウイルス学演習	1・2②			2											1
	口腔病原微生物学演習	3・4②			2											1
	臨床微生物学特論	1・2④			1				○							1
	感染症学特論	1・2④			1				○							1
	臨床感染症学実習	1・2④			2						1	1				
	感染制御学実習	1・2④			1						1	1	1			1
	短期海外臨床研修	1・2④			1						1	1	1			
	熱帯ウイルス病学演習	1・2④			2							1				
	病原細菌学演習	1・2④			2							1				2
病原原虫学演習	1・2④			2							1		1		2	
原虫生化学演習	1・2④			2							1					
熱帯寄生虫学演習	1・2④			2							1					
熱帯保健医療情報学演習	1・2④			2							1				1	
国際保健学演習	1・2④			2							1				1	
病害動物学演習	1・2④			2											1	
臨床熱帯医学演習	1・2④			2						1						
熱帯小児感染症学演習	1・2④			2						1						
熱帯微生物学演習	1・2④			2						1						
新興ウイルス感染症学演習	1・2④			2						1					2	

教育課程等の概要																
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く）教員
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	研究支援科目	ウイルス感染制御学演習	1・2④		2			○		1						1
		ウイルス生態学演習	1・2④		2			○		1						
		ウイルス免疫動態学演習	1・2④		2			○			1					
		ワクチン開発特論	1・2④		2			○		2						
		臓器統合制御学演習	1・2④		2			○		1						
		医療政策学演習	1・2④		2			○			1					
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④		2			○		1						
		先端医療学演習	1・2④		2			○		1						
		機能形態学演習	1・2④		2			○		1						
		臨床病理学演習	1・2④		2			○		1						
		基礎抗酸菌学演習	1・2④		2			○		1	1					
		臨床抗酸菌学演習	1・2④		2			○		3						
		放射線生物・防護学演習	1・2④		2			○								1
		幹細胞生物学演習	1・2④		2			○								2
		血液内科学演習	1・2④		2			○								2
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④		2			○								2
		国際ヒパクシャ医療学演習	1・2④		2			○								1
		健康社会統計学演習	1・2④		2			○								2
		神経機能学演習	1・2④		2			○								2
		公衆衛生学演習	1・2④		2			○								2
医療情報学演習	1・2④		2			○								1		
地域医療学演習	1・2④		2			○								2		
リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④		2			○								3		
総合診療学演習	1・2④		2			○								2		
人類遺伝学演習	1・2④		2			○								2		
組織修復学演習	1・2④		2			○								1		
腫瘍・診断病理学演習	1・2④		2			○								1		
研究支援科目	課題研究	1・2①		2			○		25	9	1	3			14	
	課題研究	1・2③		2			○		24	8	1	3			14	
	実習科目	特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）	2・3②		2			○		22	8	1	3			14
		特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）	2・3④		2			○		23	8	1	3			14
論文研究	論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	3・4①		4			○		25	9	1	3			14	
	論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	3・4③		4			○		25	9	1	3			14	
	小計（130科目）	—	—	16	242	0	—	—	25	9	1	3	0	0	186	
熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コース	感染症課題解決型科目群	ウイルス学特論	1後		1			○		1						
		細菌学特論	1後		1			○		1						
		疫学統計学特論	1後		1			○		1					1	
		寄生虫学特論	1・2前		1			○		1						
		病害動物学特論	1・2前		1			○		1						
		感染創薬学特論	1・2前		1			○		1					1	
	小計（6科目）	—	—	6	0	0	—	—	5	0	0	0	0	0	2	
	実習演習科目群	生物医学学実習	1・2前		2			○		1						
		グラント申請演習	1・2前		2			○		1					1	
		海外研修	2・3後		2			○		1						
		論文読解演習	1・2・3前		2			○		1					1	
	小計（4科目）	—	—	0	8	0	—	—	3	0	0	0	0	0	2	
	グローバルリーダー教養科目群	感染症危機管理学	1・2後		1			○		1						
		生命倫理学	1・2④		1			○							2	
		文化人類学	1・2後		1			○							1	
		国際経済学	1・2後		1			○		1					1	
		国際法学	1・2後		1			○		1						
	小計（5科目）	—	—	0	5	0	—	—	2	0	0	0	0	0	4	
	グローバルリーダー演習科目群	コミュニケーションスキル演習Ⅰ	1・2後		1			○								2
		コミュニケーションスキル演習Ⅱ	1・2前		1			○								2
コミュニケーションスキル演習Ⅲ		3・4通		2			○								1	
コミュニケーションスキル演習Ⅳ		3・4通		2			○								1	
グローバルリーダー演習Ⅰ		1・2・3後		1			○		2	1						
グローバルリーダー演習Ⅱ		1・2・3後		1			○		2	1						
小計（6科目）	—	—	0	8	0	—	—	2	1	0	0	0	0	2		
課題研究	課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	1・2①		2			○		25	9	1	3			14	
	課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2③		2			○		24	8	1	3			14	
	小計（2科目）	—	—	4	0	0	—	—	25	9	1	3	0	0	14	
論文研究	論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	3・4①		4			○		25	9	1	3			14	
	論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	3・4③		4			○		25	9	1	3			14	
	小計（2科目）	—	—	8	0	0	—	—	25	9	1	3	0	0	14	
合計（177科目）		—	—	34	286	0	—	—	25	9	1	3	0	0	244	

教 育 課 程 等 の 概 要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号	博士（学術），博士（医学）， 博士（歯学），博士（薬学）		学位又は学科の分野			医学関係，歯学関係，薬学関係									
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法						授 業 期 間 等									
4年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。新興感染症病態制御学系専攻及び各コースの必要単位数は，以下のとおりである。						1 学年の学期区分				2 期（4クォータ）※					
						1 学期の授業期間				1 5 週（7.5週）※					
						1 時限の授業の標準時間				9 0 分					
<p>○新興感染症病態制御学系専攻（コースに所属しない場合） （共通科目） 合計8単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2 単位 2. 生命医療科学概論 2 単位以上 3. 生命医療科学特論，生命医療科学実習 4 単位以上 （研究支援科目） 合計14単位以上 1. 必修科目 8 単位（「課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）」，「課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）」，「特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）」，「特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）」） 2. 選択科目 6 単位以上 ※研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8 単位</p> <p>○熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コース （感染症課題解決型科目群） 6 単位 （実習演習科目群，グローバルリーダー教養科目群及びグローバルリーダー演習科目群） 1 2 単位以上 （課題研究） 4 単位 （論文研究） 8 単位</p> <p>※本学では，2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2期に分け，前期を4月1日から9月30日まで，後期を10月1日から翌年3月31日までとし，前期の前半を第1クォータ，後半を第2クォータ，後期の前半を第3クォータ，後半を第4クォータとしている。</p>															

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻(博士課程)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く教員)	
共通科目	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④	/	2			○			2					15	
		小計(1科目)	—	—	2	0	0	—			2	0	0	0	0	15	
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④	/		1			○								2
		医療情報学	1・2③	/		1			○								5
		国際・熱帯医学	1・2②	/		1			○								10
		小計(3科目)	—	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	0	17
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③	/		1			○			1					2
		分子細胞生物学	1・2③	/		1			○			1					3
		ゲノム科学	1・2④	/		1			○								6
		生体材料科学	1・2①	/		1			○								4
		硬組織疾患特論	1・2②	/		1			○								7
		医薬品化学	1・2②	/		1			○								5
		生体分子解析学	1・2④	/		1			○								3
		腫瘍診断治療学	1・2④	/		1			○								9
		移植・再生医療学特論	1・2①	/		1			○			1					7
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①	/		1			○								2
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②	/		1			○			1					6
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④	/		1			○								3
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通	/		1			○								1
		先端医療科学特論(臨床編)	1・2通	/		1			○								1
先端新興感染症病態制御学特論	1・2通	/		1			○								1		
先端放射線医療科学特論	1・2通	/		1			○			1					1		
先端臨床試験特論	1・2②	/		1			○								5		
小計(17科目)	—	—	—	0	17	0	—			2	0	0	0	0	0	60	
生命医療科学実習	先端機器・特殊技術実習	1・2②	/		1				○							1	
小計(1科目)	—	—	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	0	1	
がんプロフェッショナル養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ	1・2前	/		1			○								1	
	集学的がん治療学特論Ⅱ	1・2後	/		1			○								1	
	集学的がん治療学特論Ⅲ	1・2前	/		1			○								1	
	集学的がん治療学特論Ⅳ	1・2後	/		1			○								1	
	がん個別化医療実習	1・2通	/	2						○						3	
	小計(5科目)	—	—	2	4	0	—			0	0	0	0	0	0	3	
多面的がん診療専門医師・歯科医師養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ	1・2前	/		1			○								1	
	集学的がん治療学特論Ⅱ	1・2後	/		1			○								1	
	集学的がん治療学特論Ⅲ	1・2前	/		1			○								1	
	集学的がん治療学特論Ⅳ	1・2後	/		1			○								1	
	多面的がん治療学実習	1・2通	/	2						○	1					4	
	在宅・地域医療実習	1・2通	/		1					○						1	
離島・僻地病院実習	1・2通	/		2					○						1		
小計(7科目)	—	—	2	7	0	—			1	0	0	0	0	0	4		
放射線医療科学専攻	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④	/		2				○						4	
		組織細胞生物学演習	1・2④	/		2				○						4	
		顎顔面解剖学演習	1・2④	/		2				○						1	
		組織細胞生物学演習	1・2④	/		2				○						4	
		内臓機能生理学演習	1・2④	/		2				○						1	
		生化学演習	1・2④	/		2				○						3	
		腫瘍医学演習	1・2④	/		2				○						3	
		分子標的医学演習	1・2④	/		2				○						4	
		加齢口腔生理学演習	1・2④	/		2				○						1	
		医科薬理学演習	1・2④	/		2				○						3	
		歯科薬理学演習	1・2④	/		2				○						3	
		病理診断科学演習	1・2④	/		2				○						1	
		基礎病理学演習	1・2④	/		2				○						2	
		情報病理学演習	1・2④	/		2				○						2	
		口腔病理学演習	1・2④	/		2				○						2	
生体材料学演習	1・2④	/		2				○						1			
分子腫瘍生物学演習	1・2④	/		2				○						1			

教育課程等の概要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻 (博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
放射線医療科学専攻	法医学演習	1・2④			2			○						1	
	臨床疫学演習	1・2④			2			○						1	
	比較動物医学演習	1・2④			2			○						1	
	バイオメディカルモデル動物学演習	1・2④			2			○						1	
	ゲノム機能解析学演習	1・2④			2			○						1	
	フロンティア口腔科学演習	1・2④			2			○						3	
	口腔保健学演習	1・2④			2			○						1	
	眼科・視覚科学演習	1・2④			2			○						2	
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④			2			○						1	
	脳神経外科学演習	1・2④			2			○						2	
	麻酔集中治療医学演習	1・2④			2			○						3	
	心臓血管外科学演習	1・2④			2			○						1	
	泌尿器科学演習	1・2④			2			○						3	
	腫瘍外科学演習	1・2④			2			○						2	
	移植・消化器外科学演習	1・2④			2			○						4	
	産科婦人科学演習	1・2④			2			○						1	
	整形外科演習	1・2④			2			○						6	
	形成再建外科学演習	1・2④			2			○						1	
	精神神経科学演習	1・2④			2			○						1	
	国際・地域精神健康科学演習	1・2④			2			○						1	
	皮膚病態学演習	1・2④			2			○						3	
	循環器内科学演習	1・2④			2			○						3	
	消化器内科学演習	1・2④			2			○						2	
	呼吸器内科学演習	1・2④			2			○						3	
	病態解析・診断学演習	1・2④			2			○						4	
	小児科学演習	1・2④			2			○						2	
	放射線診断治療学演習	1・2④			2			○						2	
	臨床腫瘍学演習	1・2④			2			○						3	
	歯科麻酔学演習	1・2④			2			○						1	
	歯科矯正学演習	1・2④			2			○						1	
	歯周歯内治療学演習	1・2④			2			○						2	
	口腔インプラント学演習	1・2④			2			○						1	
	歯科補綴学演習	1・2④			2			○						1	
	口腔顎顔面外科学演習	1・2④			2			○						4	
	口腔診断・情報科学演習	1・2④			2			○						2	
	先進口腔医療開発学演習	1・2④			2			○						2	
	看護学演習	1・2④			2			○						6	
	理学療法学演習	1・2④			2			○						3	
	作業療法学演習	1・2④			2			○						2	
	保健科学演習	1・2④			2			○						4	
	先端臨床薬学特論	1・2④			1			○						2	
	先端薬物治療学特論	1・2④			1			○						1	
	薬物治療学演習	1・2④			2			○						2	
	医薬品情報学演習	1・2④			2			○						2	
	薬剤学演習	1・2④			2			○						2	
実践薬学演習	1・2④			2			○						1		
分子病態化学演習	1・2④			2			○						3		
予防医学演習	1・2④			2			○						1		
先端創薬学演習	1・2④			2			○						1		
内分泌・代謝内科学演習	1・2④			2			○						1		
脳神経内科学演習	1・2④			2			○						1		
腎臓内科学演習	1・2④			2			○						3		
救命救急医療学演習	1・2④			2			○						3		
リハビリテーション学演習	1・2④			2			○						1		
脳神経病態学演習	1・2④			2			○						1		
神経免疫学演習	1・2④			2			○						1		
地域包括ケア学演習	1・2④			2			○						1		
包括的腫瘍学演習	1・2④			2			○						4		
がん個別化医療実習	1・2通			2			○						3		
免疫学演習	1・2③			2			○						2		
感染分子解析学演習	1・2③			2			○						2		
臨床感染症学演習	1・2③			2			○						3		

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹（助手を除く教員）
放射線医療科学専攻	ウイルス学演習	1・2②	////		2			○								1
	口腔病原微生物学演習	3・4②	////		2			○								1
	臨床微生物学特論	1・2④	////		1			○								1
	感染症学特論	1・2④	////		1			○								1
	臨床感染症学実習	1・2④	////		2				○							3
	感染制御学実習	1・2④	////		1				○							4
	短期海外臨床研修	1・2④	////		1				○							3
	熱帯ウイルス病学演習	1・2④	////		2				○							1
	病原細菌学演習	1・2④	////		2				○							3
	病原原虫学演習	1・2④	////		2				○							4
	原虫生化学演習	1・2④	////		2				○							1
	熱帯寄生虫学演習	1・2④	////		2				○							1
	熱帯保健医療情報学演習	1・2④	////		2				○							2
	国際保健学演習	1・2④	////		2				○							2
	病害動物学演習	1・2④	////		2				○							1
	臨床熱帯医学演習	1・2④	////		2				○							1
	熱帯小児感染症学演習	1・2④	////		2				○							1
	熱帯微生物学演習	1・2④	////		2				○							1
	新興ウイルス感染症学演習	1・2④	////		2				○							3
	ウイルス感染制御学演習	1・2④	////		2				○							2
	ウイルス生態学演習	1・2④	////		2				○							1
	ウイルス免疫動態学演習	1・2④	////		2				○							1
	ワクチン開発特論	1・2④	////		2			○								2
	臓器統合制御学演習	1・2④	////		2				○							1
	医療政策学演習	1・2④	////		2				○							1
	ウイルス肝炎治療学演習	1・2④	////		2				○							1
	先端医療学演習	1・2④	////		2				○							1
	機能形態学演習	1・2④	////		2				○							1
	臨床病理学演習	1・2④	////		2				○							1
	基礎抗酸菌症学演習	1・2④	////		2				○							2
	臨床抗酸菌症学演習	1・2④	////		2				○							3
	放射線災害医療学演習	1・2④	////		2				○							1
	放射線生物・防護学演習	1・2④	////		2				○		1					
	幹細胞生物学演習	1・2④	////		2				○		1		1			2
	血液内科学演習	1・2④	////		2				○		1					1
	アイソトープ診断治療学演習	1・2④	////		2				○		1			1		
	国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④	////		2				○		1					
	健康社会統計学演習	1・2④	////		2				○		1			1		
	神経機能学演習	1・2④	////		2				○							2
	公衆衛生学演習	1・2④	////		2				○							2
	医療情報学演習	1・2④	////		2				○							1
地域医療学演習	1・2④	////		2				○							2	
リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	////		2				○							3	
総合診療学演習	1・2④	////		2				○							2	
人類遺伝学演習	1・2④	////		2				○							2	
組織修復学演習	1・2④	////		2				○							1	
腫瘍・診断病理学演習	1・2④	////		2				○							1	
研究支援科目	課題研究	1・2①	////		2			○			6	1		4		4
	課題研究Ⅱ(放射線医療科学)	1・2③	////		2			○			6	1		4		4
実習科目	特別実習Ⅰ(放射線医療科学)	2・3②	////		2			○			6	1		4		3
	特別実習Ⅱ(放射線医療科学)	2・3④	////		2			○			6	1		4		3
論文研究	論文研究Ⅰ(放射線医療科学)	3・4①	////		4			○			6	1		4		4
	論文研究Ⅱ(放射線医療科学)	3・4③	////		4			○			6	1		4		4
小計(132科目)		—	—		16	246	0	—			6	1	0	4	0	208
合計(166科目)		—	—		22	278	0	—			6	1	0	4	0	261

教 育 課 程 等 の 概 要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号		博士（学術），博士（医学）， 博士（歯学），博士（薬学）		学位又は学科の分野			医学関係，歯学関係，薬学関係								
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等								
4年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。放射線医療科学専攻及び各コースの必要単位は，以下のとおりである。							1 学年の学期区分			2 期（4クォータ）※					
							1 学期の授業期間			1 5 週（7.5週）※					
							1 時限の授業の標準時間			9 0 分					
<p>○放射線医療科学専攻（コースに所属しない場合） （共通科目） 合計8 単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2 単位 2. 生命医療科学概論 2 単位以上 3. 生命医療科学特論，生命医療科学実習 4 単位以上 （研究支援科目） 合計1 4 単位以上 1. 必修科目 8 単位（「課題研究Ⅰ（放射線医療科学）」，「課題研究Ⅱ（放射線医療科学）」， 「特別実習Ⅰ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅱ（放射線医療科学）」） 2. 選択科目 6 単位以上 ※研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8 単位</p> <p>○がん個別化医療専門医師・歯科医師養成コース （共通科目） 合計4 単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2 単位 2. 生命医療科学概論 1 単位以上 3. 生命医療科学特論 1 単位（「包括的腫瘍学特論（基礎編）」） （コース科目） 6 単位（「集学的がん治療学特論Ⅰ」，「集学的がん治療学特論Ⅱ」，「集学的がん治療学特論Ⅲ」，「集学的がん治療学特論Ⅳ」，「がん個別化医療実習」） （研究支援科目） 合計1 4 単位以上 1. 必修科目 8 単位（「課題研究Ⅰ（医療科学）」，「課題研究Ⅱ（医療科学）」，「特別実習Ⅰ（医療科学）」，「特別実習Ⅱ（医療科学）」） 2. 選択科目 6 単位以上 ※研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8 単位</p> <p>○多面的がん診療専門医師・歯科医師養成コース （共通科目） 合計4 単位以上 1. 生命医療科学セミナー 2 単位 2. 生命医療科学概論 1 単位以上 3. 生命医療科学特論 1 単位（「包括的腫瘍学特論（臨床編）」） （コース科目） 合計6 単位以上 1. 選択科目 4 単位以上（「集学的がん治療学特論Ⅰ」，「集学的がん治療学特論Ⅱ」，「集学的がん治療学特論Ⅲ」，「集学的がん治療学特論Ⅳ」，「在宅・地域医療実習」，「在宅・地域医療実習」，「離島・僻地病院実習」） ※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を1 単位以上履修する。 2. 必修科目 2 単位（「多面的がん治療学実習」） （研究支援科目） 合計1 4 単位以上 1. 必修科目 8 単位（「課題研究Ⅰ（医療科学）」，「課題研究Ⅱ（医療科学）」，「特別実習Ⅰ（医療科学）」，「特別実習Ⅱ（医療科学）」） 2. 選択科目 6 単位以上 ※研究科（修士課程及び博士前期課程を除く。）が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8 単位</p>															
<p>※本学では，2 学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2 期に分け，前期を4 月1 日から9 月3 0 日まで，後期を1 0 月1 日から翌年3 月3 1 日までとし，前期の前半を第1 クォータ，後半を第2 クォータ，後期の前半を第3 クォータ，後半を第4 クォータとしている。</p>															

教育課程等の概要 (共同学科等)																	
【既設研究科】 (医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 博士課程)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	開設大学	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員
科基 目 礎 学	医学基礎	1前・1後		各大学		2		○			1						
	小計 (1科目)	—	—	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0	0	
基 予 盤 防 疫 学	医療統計学・疫学	1前		各大学		1		○			1	1					
	環境と遺伝	1前		各大学		1		○			1						
	生命倫理	1前・1後		各大学		1		○							2		
	小計 (3科目)	—	—	—	0	3	0	—			2	1	0	0	0	2	
先 進 予 防 医 学 に 関 す る 科 目	オ ミ ク ス 解 析 領 域	オミクス解析	1後		金沢大学	1			○								
		分子腫瘍医科学	1・2後		金沢大学		1		○								
		分子薬剤応答学	2前		金沢大学		1		○								
		栄養代謝学	1・2後		金沢大学		1		○								
		臨床遺伝学	1・2後		長崎大学		1		○			1	2				
	情 報 医 工 学 領 域	情報医工学	1後		長崎大学	1			○				1				
		バイオインフォマティクス	1・2後		金沢大学		1		○								
		探索イメージング学	2前		金沢大学		1		○								
		レギュラトリーサイエンス	1・2後		千葉大学		1		○								
		メディカルロボティクス	2前		長崎大学		1		○			1	1			4	
	マ ク ロ 環 境 領 域	マクロ環境	1後		千葉大学	1			○								
		医療政策・マネジメント	1・2後		千葉大学		1		○								
		サステイナブル環境健康科学	2前		千葉大学		1		○								
		社会疫学	2前		千葉大学		1		○								
		新規感染症とワンヘルス	1・2後		千葉大学		1		○								
		行動・精神衛生	2後		長崎大学		1		○				1			2	
		放射線健康影響概論	1・2後		長崎大学		1		○			3				3	
		地域医療論	2前		長崎大学		1		○			2	1			1	
小計 (18科目)	—	—	—	3	15	0	—			5	6	0	0	0	9		
国 内 ・ 海 外 フ ィ ー ル ド 実 習 に 関 す る 科 目	ゲノム実習 (金沢)	3・4通		金沢大学		1				○							
	過疎地コホート実習	3・4通		金沢大学		1				○							
	地域医療実習	3・4通		金沢大学		1				○							
	国際感染症研究フィールド実習	3・4通		金沢大学		1				○							
	グローバルヘルス実習	3・4通		金沢大学		1				○							
	ヘルシーシティーズ・都市部コホート実習	3・4通		千葉大学		1				○							
	グローバルヘルス環境医学実習	3・4通		千葉大学		1				○							
	環境疫学情報処理実習	3・4通		千葉大学		1				○							
	産業保健フィールド実習	3・4通		千葉大学		1				○							
	ゲノム実習 (長崎)	3・4通		長崎大学		1				○		1					
	地域コホート実習	3・4通		長崎大学		1				○		1				1	
	原爆被爆者健康診断学実習	3・4通		長崎大学		1				○		1					
	放射線臨床疫学実習	3・4通		長崎大学		1				○		1					
小計 (13科目)	—	—	—	0	13	0	—			3	0	0	0	0	1		
研 究 支 援 科 目	課題研究	2通		各大学	1				○		8	7		2		3	
	研究実践レポート (金沢)	2通		金沢大学		1			○								
	研究実践レポート (千葉)	2通		千葉大学		1			○								
	研究実践レポート (長崎)	2通		長崎大学		1			○		8	7		2		3	
	特別研究 I	3・4通		各大学	3				○								
	研究デベロップメント I (金沢)	3・4通		金沢大学		2			○								
	研究デベロップメント I (千葉)	3・4通		千葉大学		2			○								
	研究デベロップメント I (長崎)	3・4通		長崎大学		2			○		8	7		3		3	
	特別研究 II	3・4通		各大学	5				○								
	研究デベロップメント II (金沢)	3・4通		金沢大学		5			○								
	研究デベロップメント II (千葉)	3・4通		千葉大学		5			○								
	研究デベロップメント II (長崎)	3・4通		長崎大学		5			○		8	7		3		3	
小計 (12科目)	—	—	—	9	24	0	—			8	7	0	3	0	3		
合計 (47科目)		—	—	—	12	57	0	—			8	8	0	3	0	15	

教育課程等の概要(共同学科等)															
【既設研究科】(医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	開設大学	単位数			授業形態			基幹教員等の配置				備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	
学位		博士(医学)			学位の分野			医学関係							
卒業・修了要件及び履修方法					開設大学			開設単位数(必修)			授業期間等				
4年以上在学し、以下に記載する最低修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。先進予防医学共同専攻の必要単位数は、以下のとおりである。 予防医学基盤科目 必修科目 3単位 先進予防医学に関する科目 必修科目 3単位 選択必修科目 3単位以上 国内・海外フィールド実習に関する科目 選択必修科目 1単位以上 研究支援科目 必修科目 9単位 選択必修科目 16単位 合計 35単位以上					金沢大学	33(10)		1学年の学期区分			2期(4クォータ)※				
					千葉大学	32(10)		1学期の授業期間			15週(7.5週)※				
					長崎大学	32(10)		1時限の授業の標準時間			90分				
備考					<p>1 各科目区分から上記の単位を修得するとともに、それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上修得すること。</p> <p>2 予防医学基盤科目は、原則として、研究科で修得すること。</p> <p>3 先進予防医学に関する科目のうち、「選択必修科目」については、それぞれの構成大学院から1単位以上修得すること。</p> <p>4 研究支援科目において、「課題研究」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究実践レポート」(各1単位)をそれぞれ修得すること。</p> <p>5 研究支援科目において、「特別研究Ⅰ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅠ」(各2単位)をそれぞれ修得すること。</p> <p>6 研究支援科目において、「特別研究Ⅱ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅡ」(各5単位)をそれぞれ修得すること。</p> <p>※本学では、2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は、前期及び後期の2期に分け、前期を4月1日から9月30日まで、後期を10月1日から翌年3月31日までとし、前期の前半を第1クォータ、後半を第2クォータ、後期の前半を第3クォータ、後半を第4クォータとしている。</p>										

授 業 科 目 の 概 要					
(グローバルリスク研究院 (研究科等連係課程実施基本組織))					
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考	
専門科目	プラネタリーヘルス		<p>(講義科目) 人類の健康と地球環境は密接に関わっており、人類の活動がどのように地球環境を変化させ、その環境変化がどのように人の健康に影響しているかを理解することがますます重要になっている。本科目では、健康を人類のみならず地球全体で捉えたプラネタリーヘルスによる包括的なアプローチの基本概念を習得するとともに、その保健政策・プログラムへの運用を探索する。本科目を通し、学生はプラネタリーヘルスに関する学際的な理解力と考察力を習得し、持続的な健康ならびに開発を可能とするマルチセクトラルプログラム案件の策定に向けた素地を養う。</p> <p>(オムニバス方式/全25回)</p> <p>(25 渡辺 知保/2回) プラネタリーヘルス概要、まとめ</p> <p>(32 大嶺 聖/1回) 地球環境問題と公害</p> <p>(34 藤岡 貴浩/1回) 飲料水危機と水処理技術</p> <p>(53 CHRIS NG FOOK SHENG/1回) 大気環境と人間の健康</p> <p>(52 江守 正多/1回) 気候危機と社会変革</p> <p>(4 吉田 文彦/1回) なぜ核軍縮が必要なのか</p> <p>(30 皆川 昇/1回) 気候変動と感染症</p> <p>(16 佐藤 靖明/1回) パナナの生物文化史からプラネタリーヘルスを考える</p> <p>(13 河村 有教/1回) プラネタリーヘルスと法：人権とジェンダーに関する法的視点</p> <p>(51 門司 和彦/1回) 人口動向とプラネタリーヘルス (社会環境としての人口)</p> <p>(54 橋爪 真弘/1回) 気候変動と人間の健康</p> <p>(8 高村 昇/1回) 長崎、チェルノブイリ、福島からの教訓</p>	<p>(39 成田 真紀子/1回) 国家間の社会経済的格差</p> <p>(20 小松 悟/1回) 気候変動、貧困、不平等</p> <p>(56 松田 英美子・57 Jean Marc/1回) 市民社会と生態系の健全性</p> <p>(15 COMPEL RADOMIR/1回) プラネタリーヘルス時代のセキュリティリスク</p> <p>(3 細田 尚美/1回) 国際移民</p> <p>(14 GUELBEYAZ ABDURRAHMAN/1回) 言語レパトリーとメンタルヘルス</p> <p>(33 阪倉 良孝/1回) 水産養殖業</p> <p>(23 春日 文子/1回) 健康危機と災害リスクマネジメント</p> <p>(42 昔 宣希/1回) 脱炭素化のための市場ベースのメカニズム：企業のESGと持続可能な金融</p> <p>(45 西川 貴文・43 佐々木 謙二/1回) インフラ整備に伴う都市化；公衆衛生と環境への影響</p> <p>(35 持田 恵一/1回) 国際食糧システムとプラネタリーヘルス</p> <p>(55 深浦 厚之・7 三輪 加奈/1回) 発展途上国における健康の不平等と健康野公平性</p>	オムニバス
		グローバルリスク特論 I		<p>(講義科目) リスクは現代社会と切り離せない。金融市場のパニック、原子炉の溶融、北極海水の融解、パンデミックの発生など、不確実性や危険性が現代社会には蔓延している。これらのリスクは、様々なレベルを超えて運動し、多様な専門分野を横断し、予見不可能なものとなり、ますます不確実性に満ちたものとなっている。これらの複合的リスクを理解するには、統計学や確率解析の数学的な分析から、意思決定論を通して、近代社会のあり方を問う社会学の諸理論、言語理論や倫理学まで、さまざまな理論的知識が必要である。</p> <p>近代社会のリスクにどう対処すべきかについての最終的な解は現時点では存在せず、おそらく今後も正解を導き出すことはできない。人類や生態系がカタストロフィーを回避し複合リスクの危機を乗り越え、百年、千年後もwell-beingを実現するためには、政策担当者や利害関係者、ひいては一般市民に何ができるだろうか。本講義では、このような人類共通の問いについて社会科学諸分野の諸概念と知見を踏まえて、複合的リスクについて理論・思想・哲学を考察する。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(15 COMPEL RADOMIR/2回) グローバルリスク論 (リスク理論と方法、エージェンシーとプロセス) 複合リスク論 (プラネタリー思考、複合リスク)</p> <p>(44 高橋 将宜/2回) 統計理論とリスク (統計学におけるリスクの定義と計量手法、確率論) 意思決定論とリスク (意思決定理論におけるリスクと不確実性、市場リスク、信用リスク)</p> <p>(19 寺田 ゆき/2回) 社会学理論とリスク (社会システム論、コミュニケーション的行為の理論) リスク社会論 (近代とリスク、リスク社会、ガバメントリティ)</p> <p>(14 GUELBEYAZ ABDURRAHMAN/1回) 言語理論とリスク (ディスコース論、ポスト構造主義)</p> <p>(18 田村 康貴/1回) 倫理学とリスク (世代間倫理、長期主義、予見不可能性)</p>	オムニバス

授 業 科 目 の 概 要				
(グローバルリスク研究院 (研究科等連携課程実施基本組織))				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目 ブラネタリーヘルス	グローバルリスク特論Ⅱ-a		<p>(講義科目) グローバルリスク特論Ⅱ-aにおいては、長崎大学の強みでもある放射線医学・社会医学と核廃絶研究を軸に据えてグローバルな複合リスクの視点から現状と課題について対話形式で論点を整理し、核・放射線の影響について科学的知識を根拠にリスク評価するために必要な知識を獲得する。人間はリスクを意識した時、未知のリスクが生じた際の自分にとって最悪のケースを想定し恐怖感が先行し、リスクを過大評価する傾向がある。特論Ⅱ-aでは、医療における放射線治療に伴う被ばく障害、核分裂を伴わない核融合に対する新技術に潜在する不確実性、冷戦後30年を経て増大する核抑止論の理論的脆弱性の議論と一体の核兵器の使用リスクについて科学的知識を基礎を確実にすることにより現状認識を明確にする。これにより、人間及び社会全般が抱える不安を解消し現実を客観的に把握するために必須なリスクコミュニケーションの在り方について受講生が問題意識を持って考える契機とする。なお、グローバルリスク特論Ⅱ-aは、核と放射線をテーマとするが、第9回、第10回は核兵器とリスクを、多様なリスクを分野別で扱う特論Ⅱ-bとの共通テーマとする。</p> <p>(オムニバス方式/全10回)</p> <p>(11 横山 須美/1回) 核融合発電とテクノロジーリスク (エネルギー危機、安定供給、環境調和)</p> <p>(10 林田 直美/1回) 放射線と健康リスク (人体影響, がん)</p> <p>(27 宮崎 泰司/1回) 放射線、環境因子による造血器疾患リスク (造血器腫瘍, グノム変異)</p> <p>(12 吉浦 孝一郎/1回) 放射線と遺伝性リスク (人体影響, 遺伝子, 遺伝)</p> <p>(7 工藤 崇/1回) 医療における放射線利用とそのリスク (医療放射線, 画像診断, 放射線治療, 核医学)</p> <p>(28 森 亮一/1回) 被爆及び放射線治療に伴う皮膚障害のリスク (皮膚障害, 瘰癧化, 慢性潰瘍)</p> <p>(26 光武 範史/1回) 放射線による甲状腺発がんリスク (被ばく, 原発事故, ヨウ素, 甲状腺癌)</p> <p>(9 中島 正洋/1回) 原爆被爆者の健康と放射線リスク (原爆, 後障害, 発がん, 急性障害)</p> <p>(2 西田 充/1回) 核リスクとグローバルリスクⅠ (核リスク, 国際安全保障, 新興技術)</p> <p>(36 樋川 和子/1回) 核リスクとグローバルリスクⅡ (複合危機, バイオリスク, 気候変動リスク)</p>	オムニバス
	グローバルリスク特論Ⅱ-b		<p>(講義科目) 現代の複雑に連関するグローバルリスクに対して包括的な視点を養うためには、グローバルリスクの多様な側面、グローバルリスクにつながり得る地域での現実の問題、また過去のリスクに関する歴史について理解を深めることが必要である。特に、その中で置き去りにされた差別や人権の問題に目を向けること、また本学として核リスクを重大なリスクとして扱うことは欠かせない。グローバルリスク特論Ⅱ-bでは、世界や日本の地域や歴史における事例を踏まえ、グローバルリスク同士の関連性やそれらが連鎖して起きた場合の複合危機について考察し、国内外の様々な場面で有効な政策提言を行える能力を獲得することを旨とする。</p> <p>(オムニバス方式/全10回)</p> <p>(48 YNACAY NYE ALAYNA DEANNE IRENE/1回) 食料システムにおけるグローバルリスク (レジリエンス, 経済的相互依存)</p> <p>(38 阪野 祐介/1回) 宗教とグローバルリスク (宗教対立・紛争, 民族, 信仰)</p> <p>(17 桑波田 浩之/1回) 経済政策とグローバル・サプライチェーン (不確実性, 海外直接投資, 国際供給網の脆弱性)</p> <p>(46 MUTHU SUBASH KAVITHA/1回) AIとサイバースペース (AIリスク, サイバーセキュリティ・AIリスク管理)</p> <p>(42 昔 宣希/1回) 気候変動と市場メカニズム (カーボンプライシング, 炭素市場)</p> <p>(47 Madaniyazi Lina/1回) 気候変動と保健医療システム (健康・保健医療システムの強靱性)</p> <p>(13 河村 有教/1回) 環境と人権 (環境, 公衆衛生, 法・人権)</p> <p>(3 細田 尚美/1回) 国際移民との共生と分断リスク (国際移民, 異文化交流, 文化衝突, 共生)</p> <p>(2 西田 充/1回) 核リスクとグローバルリスクⅠ (核リスク, 国際安全保障, 新興技術)</p> <p>(36 樋川 和子/1回) 核リスクとグローバルリスクⅡ (複合危機, バイオリスク, 気候変動リスク)</p>	オムニバス

授 業 科 目 の 概 要				
(グローバルリスク研究院 (研究科等連係課程実施基本組織))				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専 門 科 目	政策とシステム		<p>(講義科目)</p> <p>グローバルリスク領域のリーダーとしてグローバルリスク関連政策の立案に効果的に関与するには、政策過程・サイクルについての深い洞察力を有し、政策変化が起きる理由を説明できなければならない。本科目では、公共政策学の知見や主要理論を応用し、グローバルリスク関連の政策が作られるプロセスや、そのプロセスに影響を与える要因を理解することを目指す。同時に、比較事例研究を進める上で留意すべき方法論についても理解を深め、政策研究が蓄積してきた科学的知見をより深く理解するための能力を向上させる。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(1 森川 裕二/2回) 政策過程論とグローバルリスク (制度論, 政策類型論)</p> <p>(21 鈴木 崇文/2回) 国際機構とグローバルリスク (国際機構の機能・意思決定, 主要な国際機構の役割)</p> <p>(2 西田 充/1回) 政策過程論と多国間交渉 (核リスク政策論, 軍備管理・軍縮論)</p> <p>(13 河村 有教/1回) グローバルリスクと立法政策論 (立法学, 各国法制の比較研究)</p> <p>(20 小松 悟/1回) リスク対処戦略と途上国開発 (途上国での自然災害に対する保険制度, リスク対処に向けた市場と政府の役割)</p> <p>(15 COMPEL RADOMIR/1回) 政策過程と文化 (言説的制度論, アイデンティティ, 熟議, プラクティス)</p>	オムニバス
			<p>(講義科目)</p> <p>グローバルリスク領域のリーダーとして、グローバルリスク関連政策の実施に効果的に関与するには、政策サイクルのうち実装 (implementation) に関わる主要概念や問題点、その解決法を理解している必要がある。本科目では、近年、「実装科学」として成立しつつある学問分野に立脚し、複合的なグローバルリスクの複雑性、政治経済等との相互関連性、文脈依存性を理解した上で、グローバルリスク関連政策の実装化を検証する能力を涵養する。具体的には、政策と実施の乖離を検証し、その対応策を立案、実施する能力、政策実践を取り巻く文脈性の理解に基づき政策実践プロセスを検証する知識とスキル、問題解決の革新的アプローチを考案、実施、評価する知識・スキルを習得する。</p> <p>(オムニバス方式/全9回)</p> <p>(24 神谷 保彦/5回) 実装科学総論, 政策-実施乖離の検証と解決, 公衆衛生における実装科学, 保健医療サービスの実装科学, オペレーショナルリサーチ</p> <p>(41 佐藤 美穂/2回) ジェンダーヘルスのための実装科学, 実装科学における質的調査</p> <p>(8 高村 昇/1回) リスク分析・評価のリスク管理における利害関係者のコミュニケーション</p> <p>(37 岩下 明裕/1回) 意思決定とインテリジェンスの提供</p>	オムニバス
			<p>(講義科目)</p> <p>政策立案や評価に用いられる分析手法についての理解を深める。科学的根拠に基づいた政策決定を促すためには、分析手法や根拠を得るためのデータについて一定レベルの理解が不可欠である。このコースでは、集団レベルの健康問題の特定、政策案の評価と比較、既存の政策の評価に用いられる数学的手法の概要を説明する。具体的には、モデリング、介入効果の予測、メタ分析、ビッグデータ分析などの分析アプローチを取り上げる。それぞれのアプローチにおいて、データがどのように収集され、分析され、政策立案に活用されるかを明らかにし、グローバルヘルスリーダーとなるために必要な知識を学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(40 KaJa Abbas/2回) モデリング, 介入効果予測</p> <p>(50 NGUYEN HUY TIEN/2回) システムティックレビュー, メタ解析</p> <p>(31 植木 優夫/2回) ビッグデータ解析</p> <p>(49 丸山 幸宏/2回) 包絡線分析</p>	オムニバス

授 業 科 目 の 概 要				
(グローバルリスク研究院 (研究科等連係課程実施基本組織))				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専 門 科 目	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	<p>(講義科目)</p> <p>本科目では、組織マネジメントの様々な側面を実践的に学ぶ。授業では、アクティブ・ブック・ダイアログ方式で各内容を学ぶ。受講生は授業前に、オンラインホワイトボードアプリケーションMIROを使って、マネジメントの本の一部を数枚の短いノートにまとめる。授業中、各生徒はMIROを使って本の一部を発表する。発表の後、その本のケーススタディについて議論する。</p> <p>(全8回)</p> <p>(22 西村 宣彦) オリエンテーション・戦略的に考える、戦略の実行、目標設定、プロジェクトの管理、チームを率いる、イノベーションの実行、ビジネスプランの作成、ファイナンスを理解する</p>	
		渉外マネジメント特論	<p>(講義科目)</p> <p>本科目では、人間関係管理の実践的なスキルを学ぶ。はじめに、ビジネスプレゼンテーションのスキルについて学ぶ。その後、説得と交渉のスキルについて説明する。その後、会議の進め方や難しい交渉の進め方について学ぶ。</p> <p>(全8回)</p> <p>(22 西村 宣彦) オリエンテーション、コミュニケーション、ビジネス・プレゼンテーション、説得、交渉、困難な交渉に対処する、ファシリテーションの基本、変革的ファシリテーション1 理論、変革的ファシリテーション2の実践</p>	
		グローバルガバナンス特論	<p>(演習科目)</p> <p>本科目では、地球規模で発生する危機に伏在するグローバルリスクに対し、どのようなガバナンスが求められるかについて、現状と課題を多面的に考察する。具体的には、現在社会が直面するグローバルリスクは複合的性質を持つという認識から、国際安全保障、感染症、自然環境、開発・貧困、経済・金融の各領域で発生し、国境を越えて伝播する越境リスクの諸問題を人類共通の問題として位置づけ、理解を深める。地球規模の公共の利益をもたらすガバナンスや国際的制度設計の在り方について理解を深めるとともに、国際社会において、有効な政策を提言できる能力を獲得することを旨とする。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(36 樋川 和子/1回) グローバルリスクと安全保障Ⅰ (核リスク、国際安全保障、複合危機への対応)</p> <p>(23 春日 文子/1回) グローバルリスクと安全保障Ⅱ (バイオセキュリティ)</p> <p>(29 飯島 渉/2回) 感染症とグローバルリスク (パンデミック) 感染症とリジョナルリスク (エンデミック)</p> <p>(6 三輪 加奈/2回) 気候変動とリスクⅠ (気候リスクと貧困) 環境と開発 (開発途上国、貧困と開発)</p> <p>(5 式見 雅代/2回) 気候変動とリスクⅡ (気候変動と経済活動)、 金融危機とグローバルガバナンス (グローバル資本市場、持続可能性)</p>	オムニバス
	実習科目	実務研修	<p>(実習科目)</p> <p>1年次の夏期調整期間を利用して、国際機関・政府機関・NGO・民間企業等で短期の実務研修を行う。グローバルリスク分野を専門とするプロフェッショナルとして、派遣先機関が抱える課題のうち、短時間で解決法を示せる課題を学生自ら特定する。1年次の専門科目で身につけた内容を、課題解決に活かす。この実務研修では、限られた時間のなかで一定の成果を挙げることが要求される。この経験を通して、課題設定、調整・交渉、コミュニケーションに関するスキルを磨く。また、実務研修の経験が、2・3年次に実施するプロジェクト演習の派遣先やテーマ設定に活かされることが期待される。</p>	
	演習科目	プロジェクト演習	<p>(演習科目)</p> <p>2年次の後半から3年次にかけて、国際機関・政府機関・NGO・民間企業等に所属し、長期フェロシップを実施する。グローバルリスク分野を専門とするプロフェッショナルとして、派遣先機関の戦略計画策定等の業務に従事する。それを通して、調整・交渉能力、政策やプログラムの提案、実施能力を高める。プロジェクト開始に当たっては、専門科目の全単位を取得し、資格審査のための筆記試験および、プロジェクト提案書の口頭試験に合格し、長期フェロシップの着手に必要な能力を獲得していることを示す必要がある。プロジェクトを完遂させるには、フェロシップの経験をもとに、グローバルリスクに関する政策と実践に焦点を当てた博士學位論文を執筆・発表し、審査に合格する必要がある。この博士學位論文は原著論文 (Original Research Article) としての性格を持つ必要はない。既存の科学的知見を活用・統合し、グローバルリスクに関する政策課題の特定や分析を通して解決策を提案し、また、解決策を実施する場合はそこから得られた教訓をまとめる文書となる。</p>	